

決算説明会資料

株式会社山口フィナンシャルグループ

平成24年度中間決算の概要と グループ戦略について

平成24年12月3日

目次

1. 業績概要

平成24年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行・北九州銀行の平成24年度中間決算概要	2
もみじ銀行の平成24年度中間決算概要	3
預貸金の状況	4
期中平均利回りの推移	5
有価証券残高・評価損益の状況	6
役務収益の推移	7
信用コストと不良債権の状況	8
自己資本比率の状況	9
経費の推移と見通し	10
平成25年3月期の業績予想	11
配当実績・計画	12

2. グループ戦略

YMFGの挑戦	13
地域密着型金融の追求に向けた各行の課題	14
地域密着型金融の追求①山口銀行	15
地域密着型金融の追求②山口銀行	16
地域密着型金融の追求③もみじ銀行	17
地域密着型金融の追求④北九州銀行	18
海外事業強化	19
メイン顧客拡大に向けた取組み	20
グループ会社の機能強化	21

3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	22
業績推移(2)各行単体	23
貸出金推移(末残)	24
預金推移(末残)	25
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	26
利回り・利鞘推移	27
債務者区分の遷移状況(H23/9末⇒H24/3末)	28
債務者区分の遷移状況(H24/3末⇒H24/9末)	29
リスク資本配賦	30
地区別経済概況(山口県)	31
地区別経済概況(広島県)	32
地区別経済概況(北九州)	33
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	34
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	35

1.業績概要

平成24年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆貸出債権の証券化に伴い譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比22億円増加。
- ◆加えて、与信関係費用の減少などにより、中間純利益は前年同期比34億円増加し122億円を計上。

(億円)

	YMGF連結		3行合算			
		前年同期比		前年同期比	山口+北九州	もみじ
コア業務粗利益	622	34	599	35	△21	56
資金利益	476	△34	478	△33	△18	△15
役務取引等利益	66	△4	46	△2	△0	△1
その他業務利益	73	69	73	69	△3	73
経費(△) (除く臨時処理分)	440	11	402	14	12	2
人件費(△)	-	-	180	△3	0	△3
物件費(△)	-	-	199	18	12	6
コア業務純益	182	22	196	20	△34	54
経常利益	191	23	200	16	△22	38
中間純利益	122	34	137	26	△11	37
与信費用	10	△30	9	△30	△43	12

資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	24/9期	前年同期比
資金利益	478	△33
資金運用収益	522	△44
貸出金利息	429	△25
有価証券利息	85	△15
資金調達費用	43	△10
預金利息	35	△12
その他	0	△0

貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、その他業務利益が前年同期比73億円増加。

連単差

3行合算中間純利益	137億円
のれん償却費(もみじ銀行)	△24億円
FG連結調整等	12億円
子銀行連結調整	△3億円
YMGF連結純利益	122億円

※単位未満は切捨て表示、3行合算については3行単体の単純合算数値

山口銀行・北九州銀行の平成24年度中間決算概要

- ◆ 資金運用収益の減少や営業経費(物件費)の増加などにより、コア業務純益は前年同期比34億円減少。
- ◆ 国債等債券損益増加や与信費用減少はあるものの、株式等減損処理などにより中間純利益は前年同期比11億円減少。

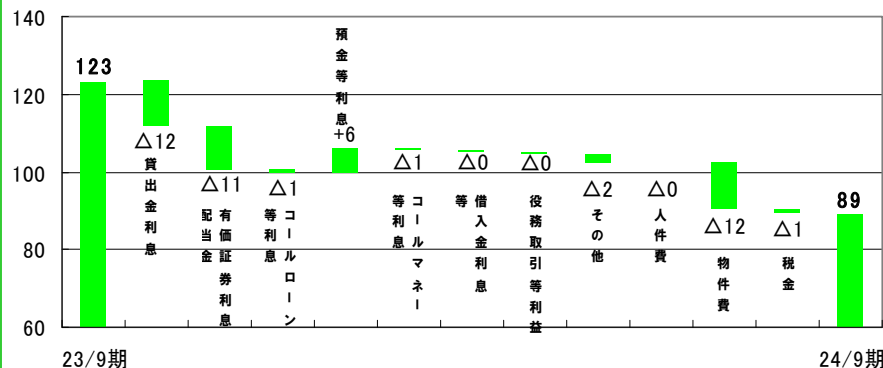
	山口+北九州	
	24/9期	前年同期比
経常収益	461	△19
業務粗利益	389	6
資金利益	307	△18
役務取引等利益	32	△0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	49 (51)	23 (27)
経費(除く臨時処理分)(△)	248	12
うち人件費(△)	110	0
うち物件費(△)	125	12
一般貸倒引当金繰入額(△)	△20	△25
業務純益	161	18
コア業務純益	89	△34
臨時損益	△63	△41
うち不良債権処理額(△)	11	△18
うち株式等関係損益	△50	△53
経常利益	97	△22
特別損益	△0	2
税引前中間純利益	97	△20
中間純利益	59	△11
与信関係費用	△9	△43

(億円)

山口銀行	北九州銀行
24/9期	24/9期
404	67
335	53
257	49
29	3
48	0
(51)	(△0)
204	44
89	20
103	21
-	-
131	9
80	9
△37	△5
0	-
△39	△11
93	3
△0	△0
93	3
57	2
△4	△5

コア業務純益 89億円(前年同期比 △34億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益 (億円)



有価証券関係損益 0億円(前年同期比 △26億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
国債等債券損益	51	27
売却損益	52	20
償還損益	△0	7
株式等損益	△50	△53
売却損益	0	△3
償却額(減損処理)	51	50

株式等減損を
国債等損益で
カバー

与信関係費用 △9億円(前年同期比 △43億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△20	△25
個別貸倒引当金繰入額	10	△18

減少

もみじ銀行の平成24年度中間決算概要

- ◆ 貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことを主因として、コア業務純益は前年同期比54億円増加。
- ◆ 与信費用の増加などあるものの、コア業務純益の増加が大きく、中間純利益は前年同期比37億円増加。

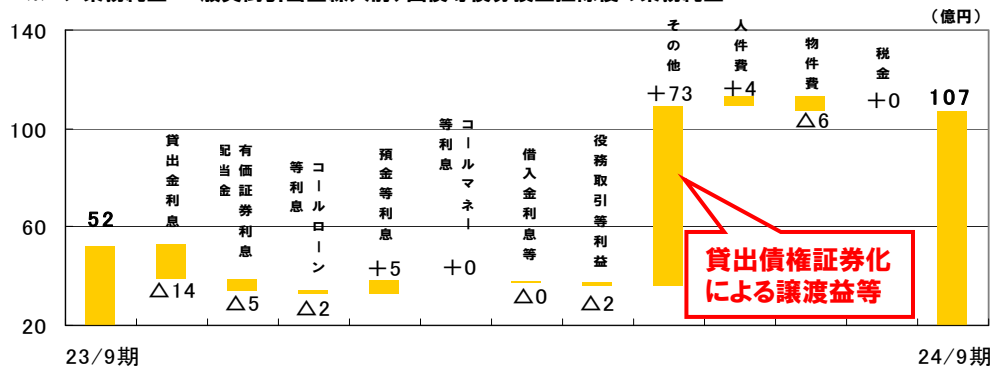
(億円)

	24/9期	前年同期比
経常収益	336	59
業務粗利益	300	67
資金利益	171	△15
役務取引等利益	14	△1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	114 (39)	84 (10)
経費(除く臨時処理分)(△)	153	2
うち人件費(△)	70	△3
うち物件費(△)	74	6
一般貸倒引当金繰入額(△)	△8	△4
業務純益	155	69
コア業務純益	107	54
臨時損益	△51	△30
うち不良債権処理額(△)	27	16
うち株式等関係損益	△18	△13
経常利益	103	38
特別損益	△0	0
税引前中間純利益	103	38
中間純利益	78	37
与信関係費用	18	12

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 107億円(前年同期比 +54億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 20億円(前年同期比 △2億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
国債等債券損益	39	10
売却損益	40	12
償還損益	△1	△1
株式等損益	△18	△13
売却損益	△3	△3
償却額(減損処理)	14	9

株式等減損を
国債等損益で
カバー

与信関係費用 18億円(前年同期比 +12億円)

(億円)	24/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△8	△4
個別貸倒引当金繰入額	25	16

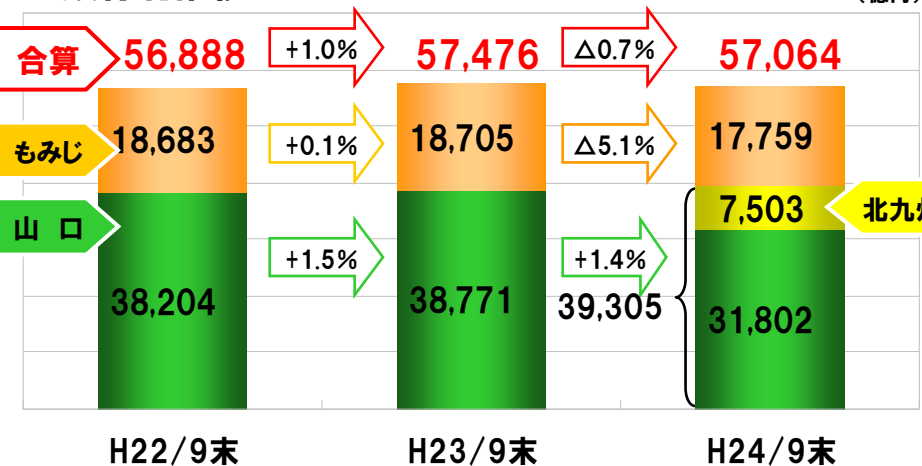
預貸金の状況

- ◆貸出金：住宅ローン債権証券化に伴う残高減少要因はあるものの、事業性融資は順調に残高が増加。
- ◆預金：高利回りの譲渡性預金は残高を抑制したが、預金残高は前年同期比858億円の増加。

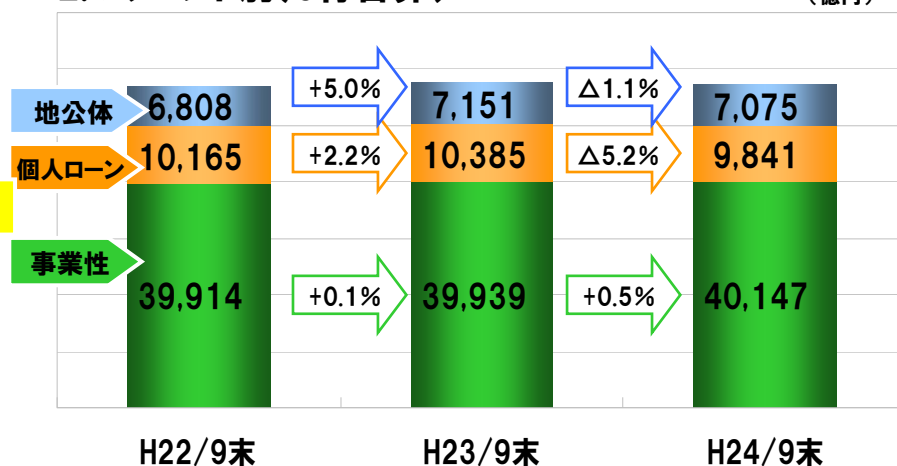
貸出債権証券化に伴う減少要因を
除くと前年同期比プラス

貸出金

1. 銀行別推移

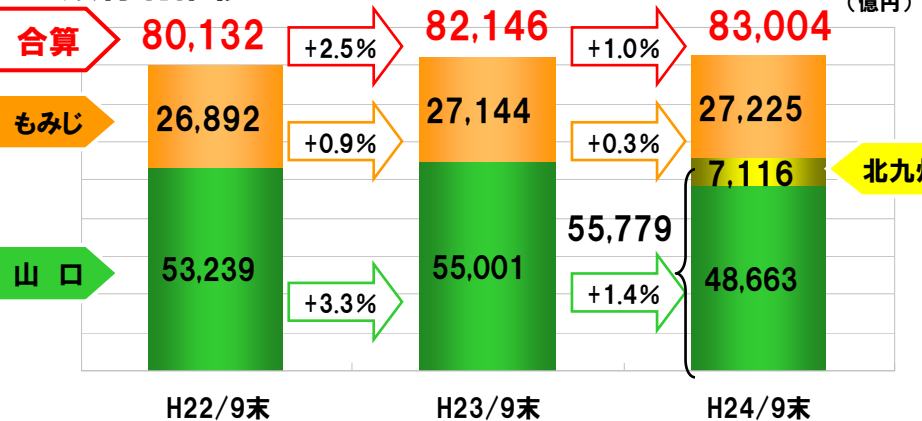


2. セグメント別(3行合算)

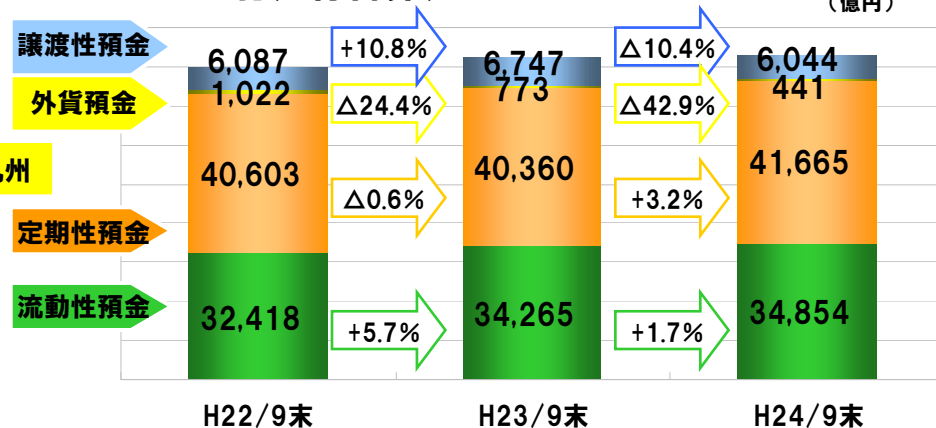


預金

1. 銀行別推移



2. セグメント別(3行合算)



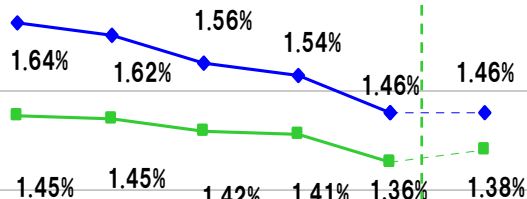
※記載計数は国内店勘定です。

期中平均利回りの推移

- ◆貸出金利回りは、中小企業を主体とした小口貸出の積上げなどにより、横這い推移を見込む。
- ◆預金利回りについては、引続き、高利回りの記念定期預金の満期到来などによる低下を見込む。

山口銀行

貸出金利回り



預貸金単純利鞘



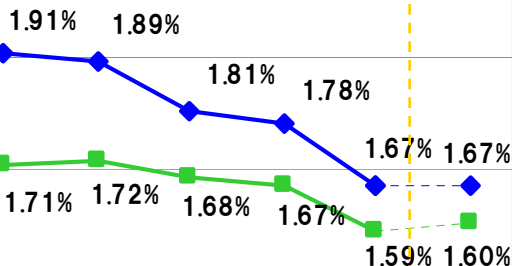
引続き預金利回り低下を見込む。



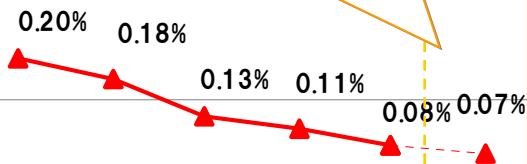
預金利回り

22年度上 22年度下 23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 (計画)

もみじ銀行

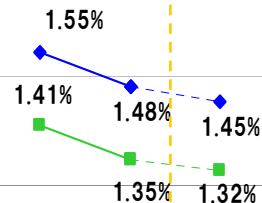


引続き預金利回り低下を見込む。

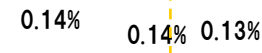


22年度上 22年度下 23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 (計画)

北九州銀行



預金利回り低下を見込む。



22年度上 22年度下 23年度上 23年度下 24年度上 24年度下 (計画)

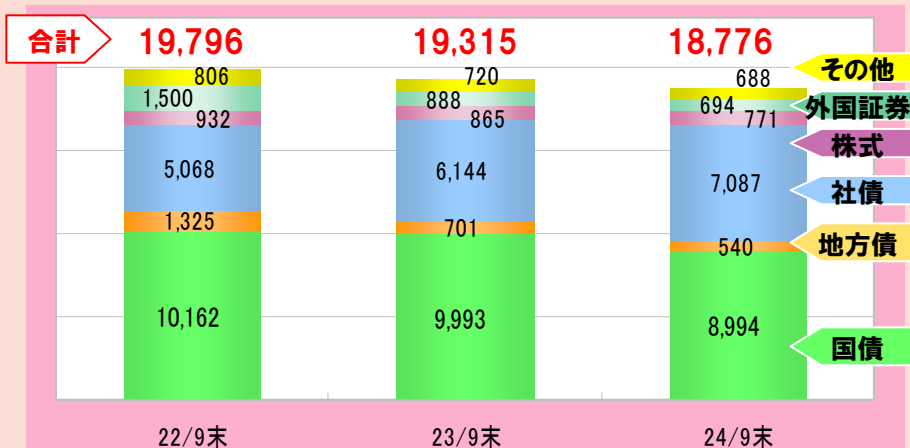
※山口銀行の23年度下半期実績は北九州銀行と合算、24年度上半期(実績)・下半期(計画)については山口銀行単体
 ※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を四捨五入で表示

有価証券残高・評価損益の状況

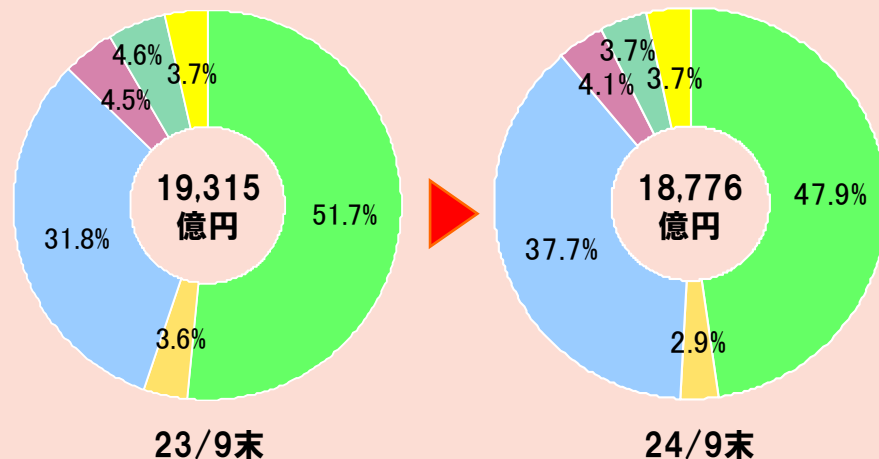
- ◆ 株式評価益は減少したものの債券評価益増加などにより、有価証券評価益は前年同期比17億円増加。
- ◆ 国内債券は、金利動向に応じて機動的な売買を実施し売却益を確保。外国債券は残高積上げを抑制。

1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)

(億円)

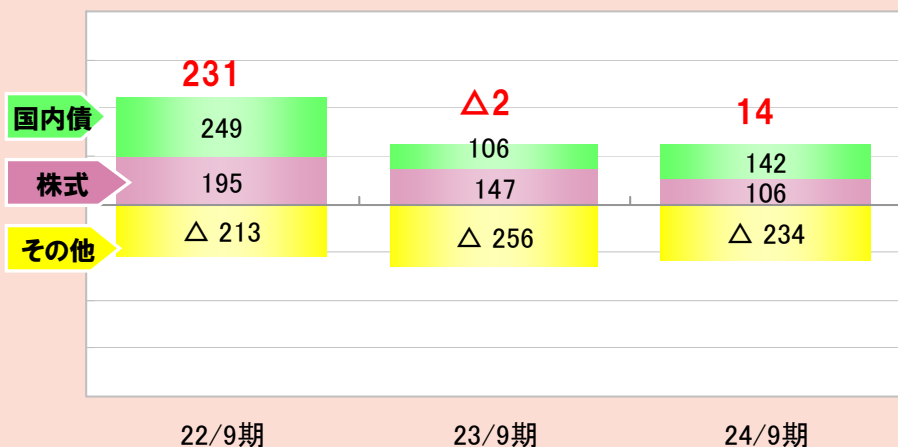


2. 有価証券構成比(3行合算)



3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)

(億円)



4. 保有債券のデュレーション

(年)

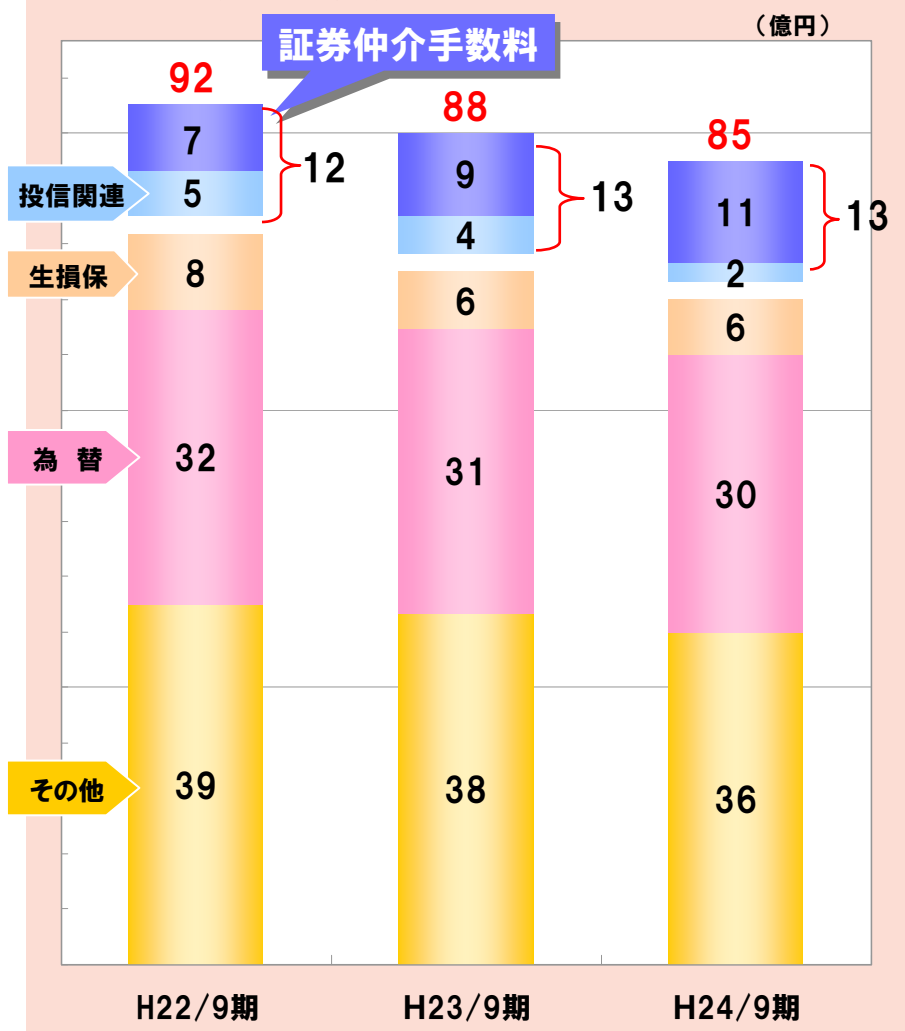
山口銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	4.98	4.53	△0.45
外国証券	3.31	3.01	△0.30

もみじ銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	4.27	4.44	+0.17
外国証券	3.70	3.22	△0.48

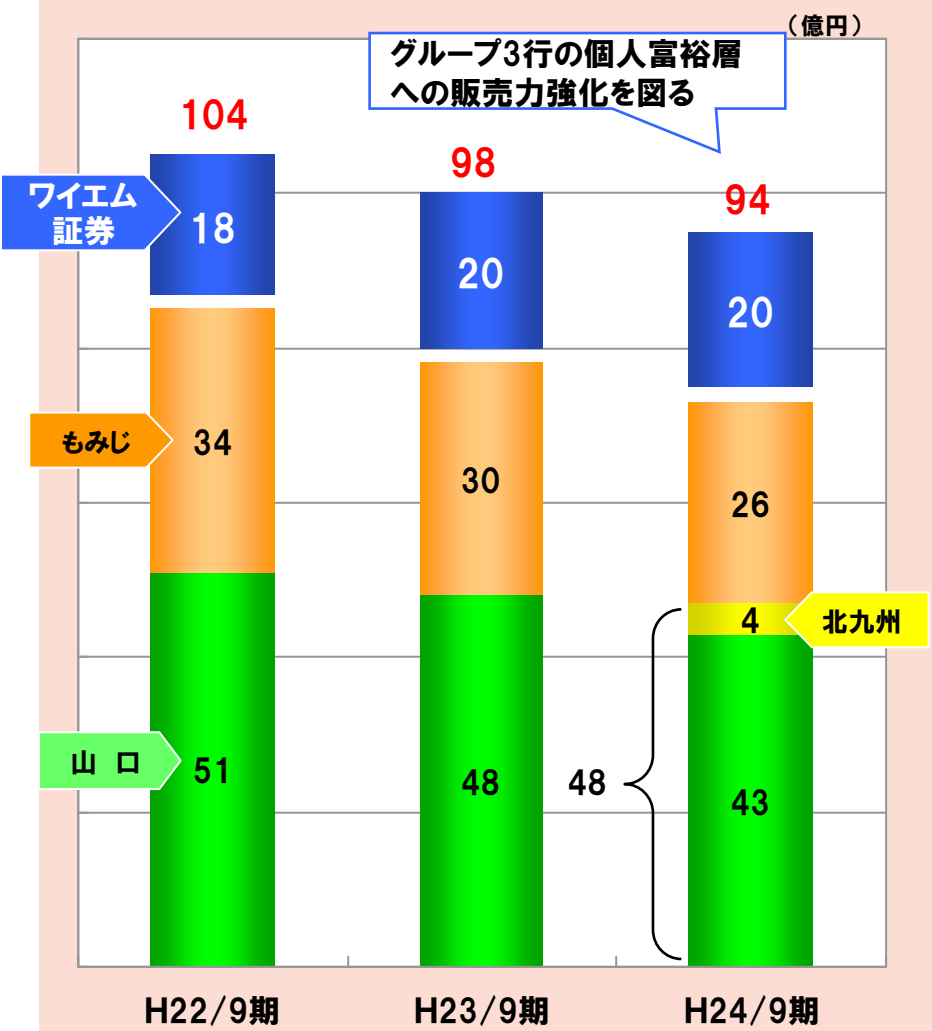
北九州銀行	23/9期	24/9期	前年同期比
国内債	-	4.63	-
外国証券	-	-	-

◆証券仲介手数料およびワイエム証券販売手数料がグループ役務収益に大きく貢献。

1. 商品別(3行合算)



2. グループ企業別

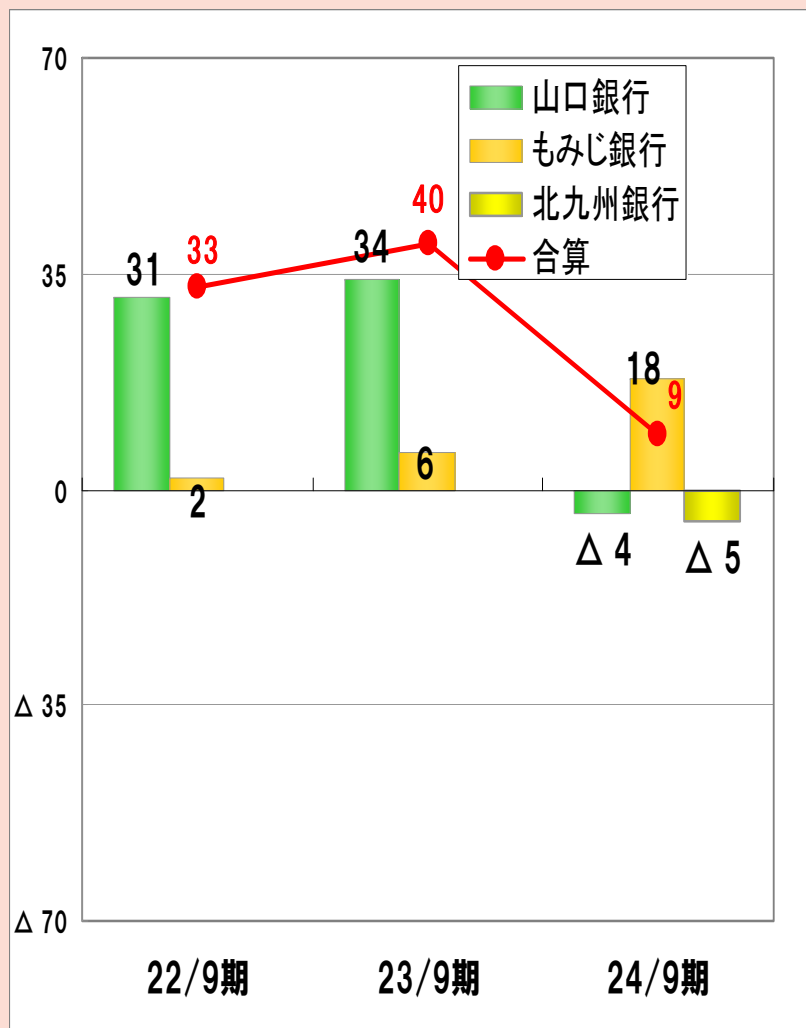


※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

◆与信費用(3行合算)、不良債権残高・不良債権比率(3行合算)は、前年同期比減少。

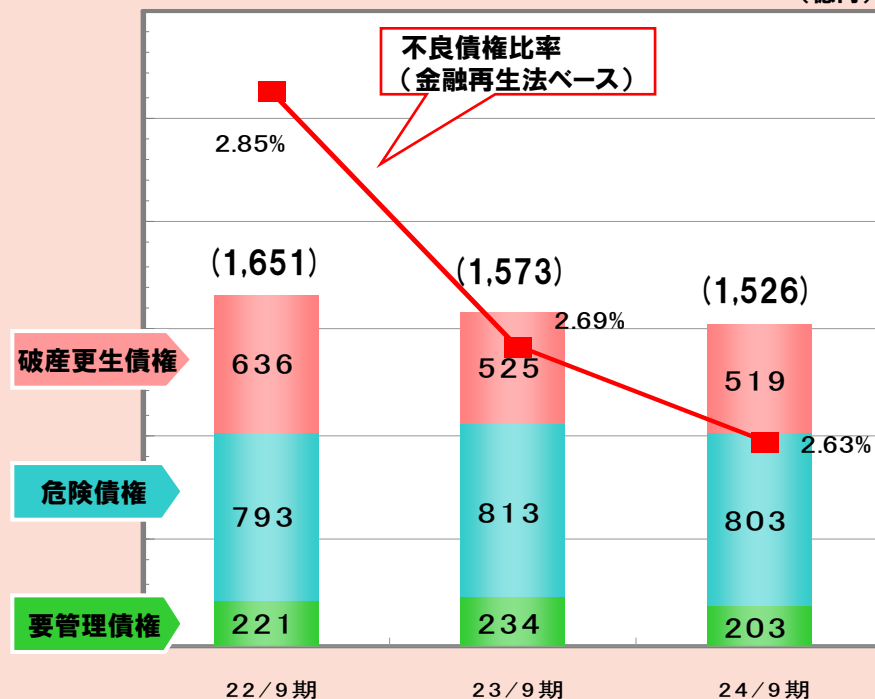
1. 与信費用(3行合算)

(億円)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



〔業種別リスク管理債権〕

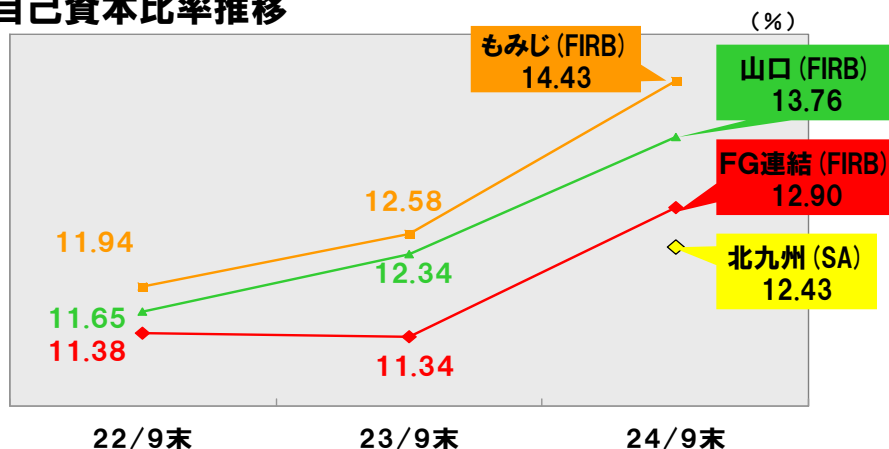
(億円)

	23/9期	24/9期	増減
開示債権合計	1,560	1,515	▲ 45
製造業	187	252	65
建設業	238	218	▲ 20
卸売・小売業	343	352	8
不動産業	241	204	▲ 37
各種サービス業	292	267	▲ 24
その他	256	219	▲ 37

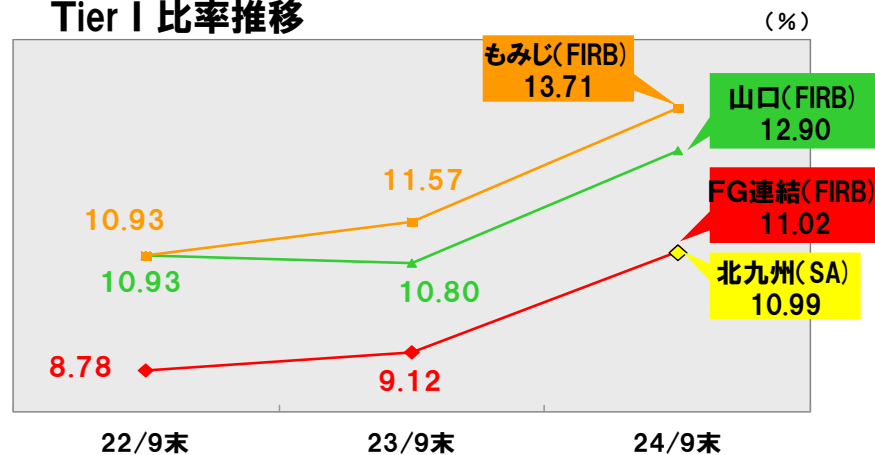
自己資本比率の状況

◆連結自己資本比率は、利益の積上げや**基礎的内部格付手法(FIRB)**の採用により12.90%に上昇(前年同期比+1.56%)。Tier I 比率は、11.02%に上昇(前年同期比+1.90%)。

自己資本比率推移



Tier I 比率推移



自己資本およびリスクアセット

	FG連結 (第一基準)		山口銀行 (国際統一基準)		もみじ銀行 (国内基準)		北九州銀行 (国内基準)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
自己資本額	4,919	△29	2,776	△757	1,902	△11	790	-
うちTier I	4,205	226	2,602	△490	1,807	49	698	-
うちTier II	762	△256	182	△268	96	△59	91	-
控除項目(△)	49	△0	8	△1	2	1	-	-
リスクアセット	38,134	△5,484	20,166	△8,461	13,178	△2,021	6,357	-
自己資本比率	12.90%	1.56%	13.76%	1.42%	14.43%	1.85%	12.43%	-

基礎的内部格付手法の採用

- ・金融庁の承認を受け、平成24年9月期より採用
- ・山口FGは、地方銀行を中核とした**銀行持株会社では初**
- ・もみじ銀行は**第二地方銀行での採用は初**

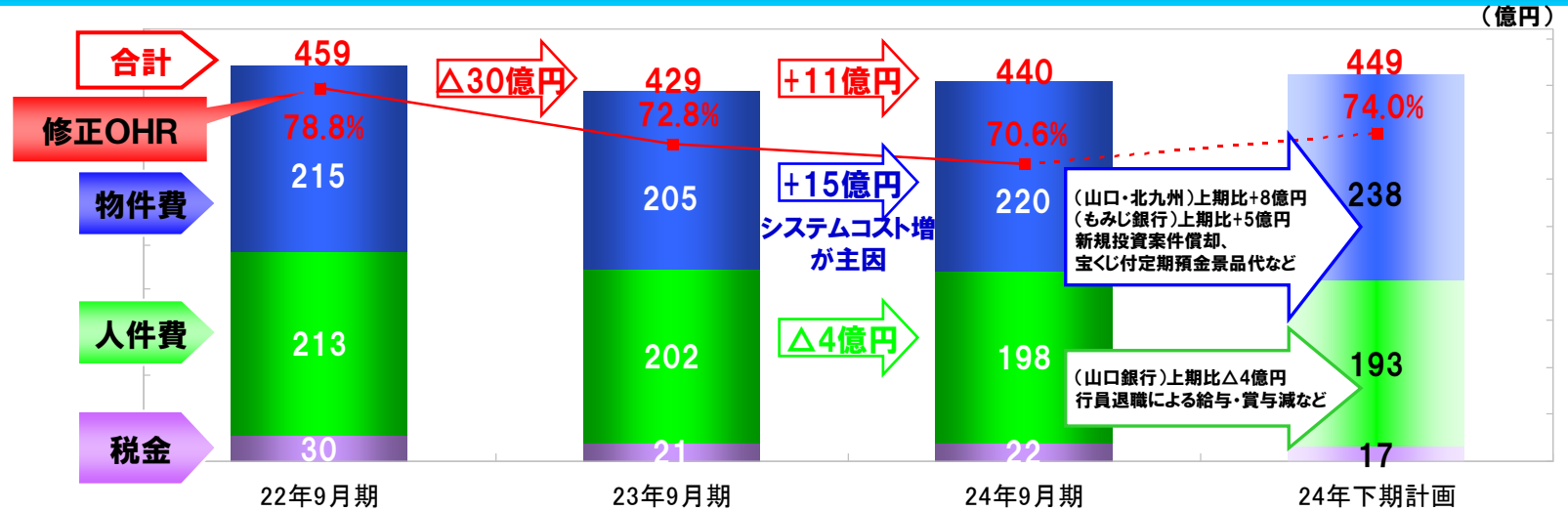
基礎的内部格付手法の効果

- ・信用リスクを適切に反映させ、**信用リスク管理態勢の一層の高度化**
- ・銀行としての健全性を向上させ、**地域社会における金融仲介機能の充実**

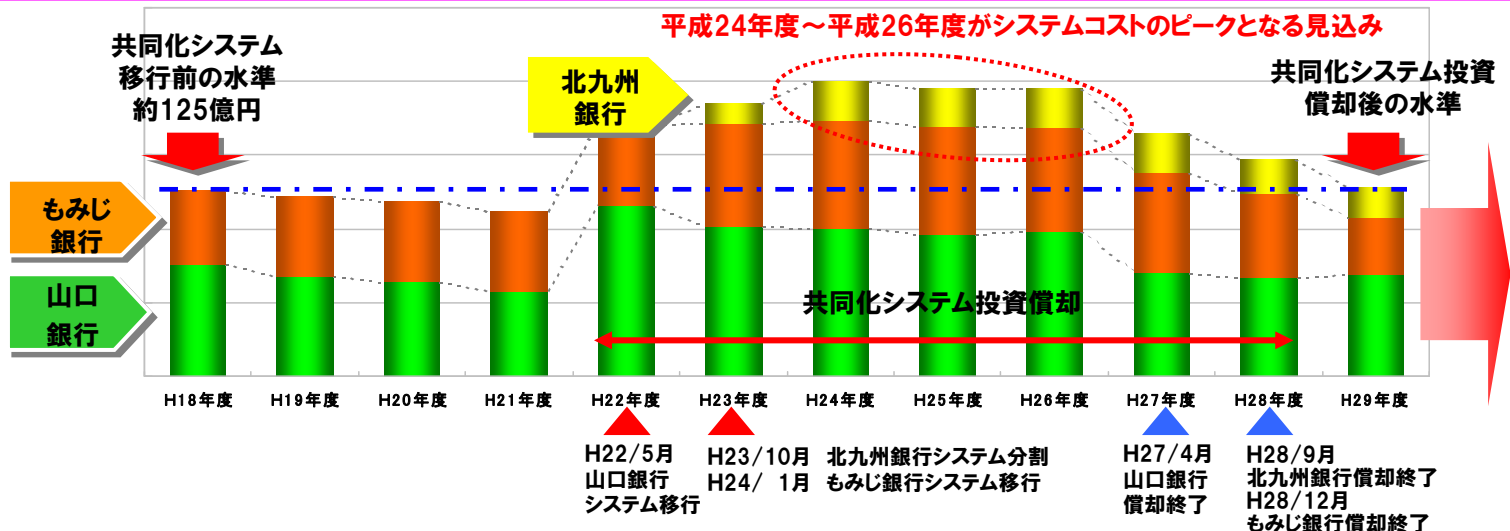
経費の推移と見通し

- ◆北九州銀行、もみじ銀行のシステム償却本格開始により、経費は前期比増加となるも通期ではほぼ前年並みを見込む。
- ◆システム共同化、北九州銀行開業に伴うシステム移行コストは今年度から3年間ピークを迎える以降、漸減見込。
- ◆3行のシステム・事務共通化の効果を最大限に活かし、営業部門への人員再配置などにより、トップライン収益を増強させる。

経費と修正OHRの推移(山口FG連結)



システムコストの推移(イメージ図)



平成25年3月期の業績予想

◆平成24年5月に公表した業績予想から、コア業務純益+15億円、当期利益+45億円上方修正

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結		
	通期予想	24/3比	当初計画比
コア業務粗利益	1,230	60	△5
コア業務純益	325	48	15
経常利益	405	41	40
当期利益	245	66	45
ROE	5.2%	1.4%	1.0%
総資産	95,000	3,846	0
自己資本比率	11.8%	0.0%	△0.3%

2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	24/3比
コア業務粗利益	1,183	62
資金収支	980	△28
役務収支	117	14
経費	811	1
人件費	358	△10
物件費	414	18
コア業務純益	370	61
経常利益	430	37
当期利益	275	60
与信費用	△6	△11

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行 + 北九州銀行		山口銀行 通期予想	北九州銀行 通期予想
	通期予想	24/3比		
コア業務粗利益	709	△10	600	109
資金収支	624	△19	524	100
役務収支	77	8	71	7
経費(△)	499	11	407	92
人件費(△)	215	△4	175	40
物件費(△)	260	15	213	46
コア業務純益	209	△21	193	16
経常利益	260	△20	245	15
当期利益	160	19	150	10
与信費用	△20	△31	△9	△11

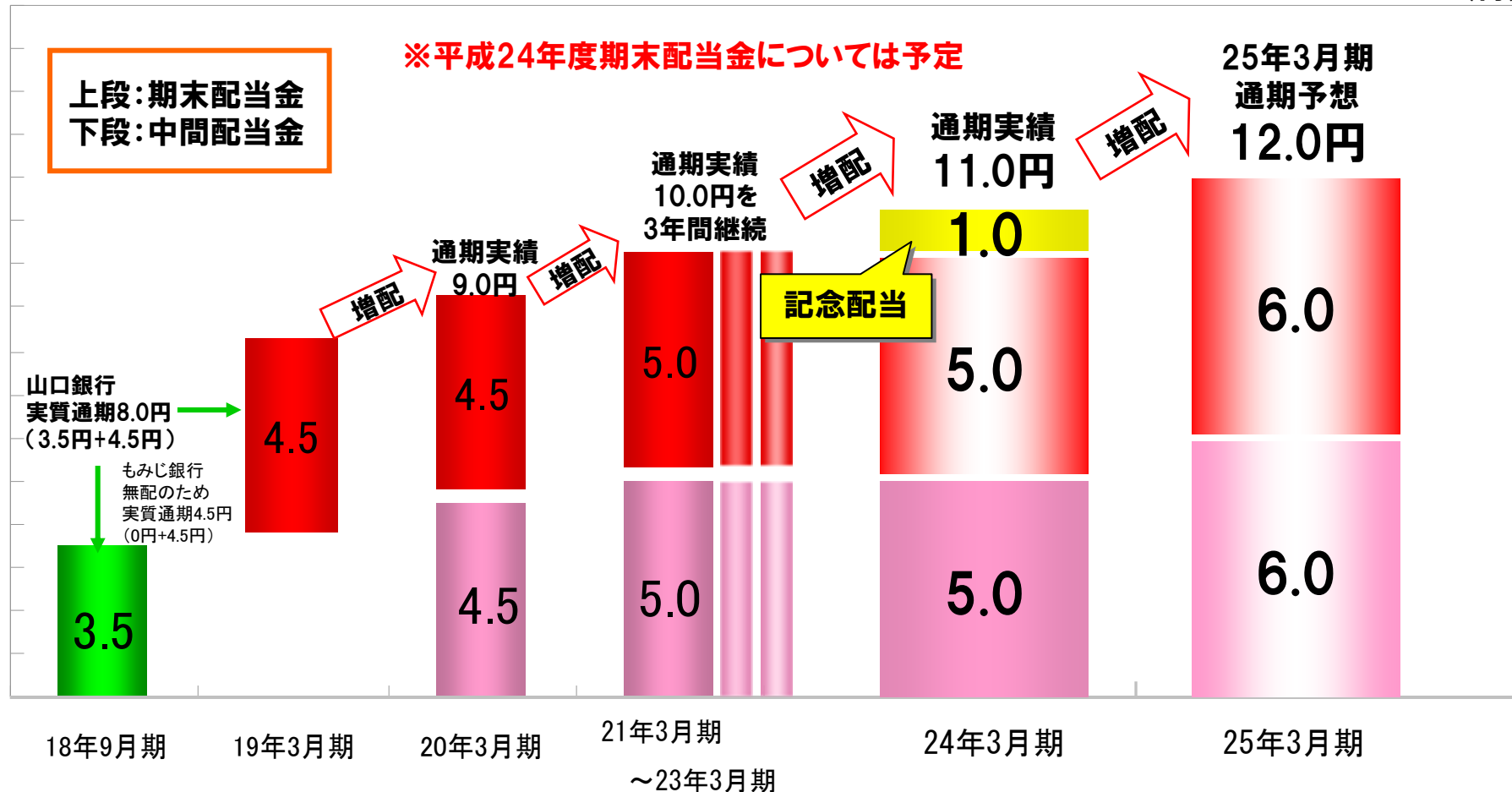
もみじ銀行	
通期予想	24/3比
474	72
356	△9
40	6
312	△10
143	△6
154	3
161	82
170	57
115	41
14	20

※記載金額は、単位未満を四捨五入して表示

- ◆ 24年3月期第2四半期末の普通配当5.0円と記念配当1.0円、合計6.0円を維持
- ◆ 24年度は、**2年連続して増配**となる年間12.0円の配当を予定

配当実績および予想

(円)



2.グループ戦略

◆YMFG設立以来築き上げたグループ態勢を最大限に活かし、新たな挑戦を続ける

平成22年度

平成23年度

平成24年度(中計最終年度)

【地域密着型金融の展開】

- 北九州金融準備(株)の設立
- 北九州銀行開業、5店舗新設
- 各行に「地域振興部」設置
- コンサルティング会社のFGグループ化
- 大和証券(株)との連携協定締結

- 地公体との『産業振興連携協定』締結(H24年7月) 山口
- 中小再生ファンド
『せとみらいファンド』創設合意(H24年8月) もみじ
- 『経営革新等支援機関』認定(H24年11月) 3行
- 北九州銀行2店舗新設(H25年3月予定)
※25年度上期に1店舗さらに新設予定 北九州

【海外事業強化】

- クロスボーダー人民元決済取扱い開始
- 青島支店増資
- 中国銀行(岡山県)との業務提携
- 日本通運(株)との業務提携
- 損保3社との海外進出支援業務提携

- 海外人材育成強化
(H24年から4名海外派遣、今後2年を目標に合計20名を予定) FG・3行
- 北陸銀行との業務提携(H24年5月) 山口
- 人民元建外貨定期預金の取扱開始
(H24年11月) 山口
- セコム、総合警備保障との業務提携
(H24年11月) 3行

【コスト構造改革・経営基盤強化】

- 山口銀行地銀共同化システム稼働
- 北九州銀行システム分割
- 人事制度プラットフォーム標準化
- もみじ銀行地銀共同化システム稼働
(グループシステム統合)
- 銀行業務委託子会社の本体業務吸収
- 本部組織改編

- 基礎的内部格付手法の採用(H24年9月期) FG・山口・もみじ
- 間接部門人員の営業部門再配置 FG・3行
- 3行共通商品取扱拡大 3行
外貨預金キャンペーン(H24年6月)
宝くじ付定期預金(H24年9月)
ビジネスローン『ジャストミート』(H24年10月)
- 3行共同コンタクトセンター稼働(H24年10月) 3行

地域密着型金融の追求に向けた各行の課題

◆各行が地元において以下の課題に取り組む、地域密着型金融を追求

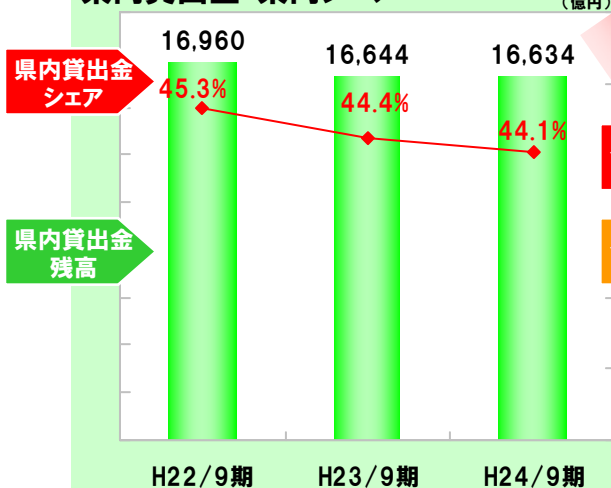


山口銀行

キーワード

リテール強化

県内貸出金・県内シェア



- ◆他行肩代わりの推進と法人メイン化を推進、収益性の高い小口先を推進
- ◆ローン専担者を増員し、業者営業や借換営業を強化し住宅ローンを増強
- ◆県内取引の採算性向上に取り組み、収益効率の高さで他地域をリード



もみじ銀行

県内シェアアップ

県内貸出金・県内シェア



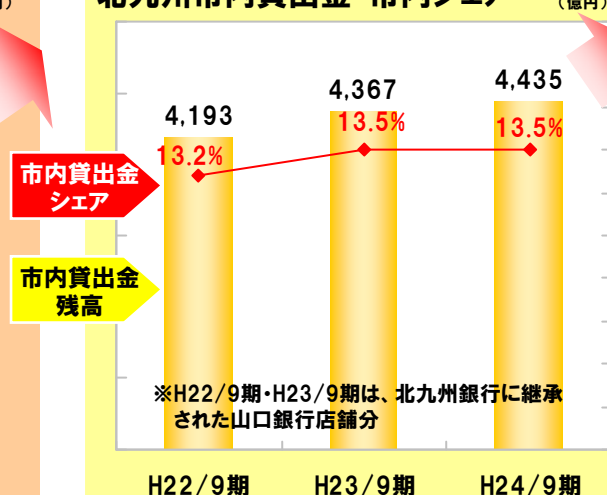
- ◆システム移行後の事務効率化や本部専担者を営業にシフト(100名規模)
- ◆高層マンションの建設など住宅需要の拡大が見込まれることから、住宅ローンの営業体制を強化
- ◆女性営業員や資産運用アドバイザーを増員し、預り資産販売体制を再構築



北九州銀行

地元化

北九州市内貸出金・市内シェア

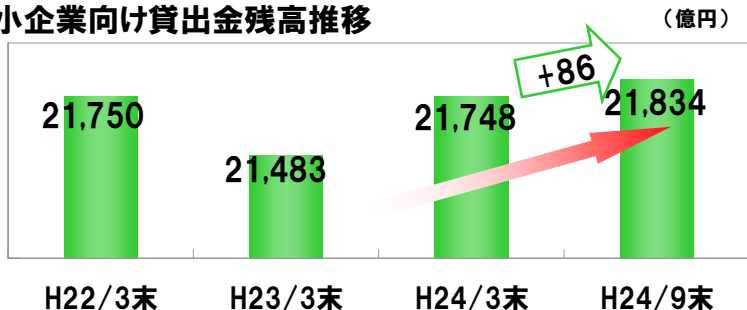


- ◆開業後1年で5ヵ店出店、25年3月に2ヵ店、8月に1ヵ店を出店予定
- ◆人口集積が見込まれる住宅地域にリテールの小型店舗を積極的に展開し、住宅ローンの増強を図る
- ◆開業時約1,000億円の貸出超過は、24年9月末で約400億円に縮小

- ◆法人:収益性の高い小口先を中心に、他行肩代わりの推進と法人メイン化を推進。
- ◆個人:住宅ローンを中心とした個人ローンの増強、および、年金保険の販売体制を強化。

1. 法人金融

中小企業向け貸出金残高推移

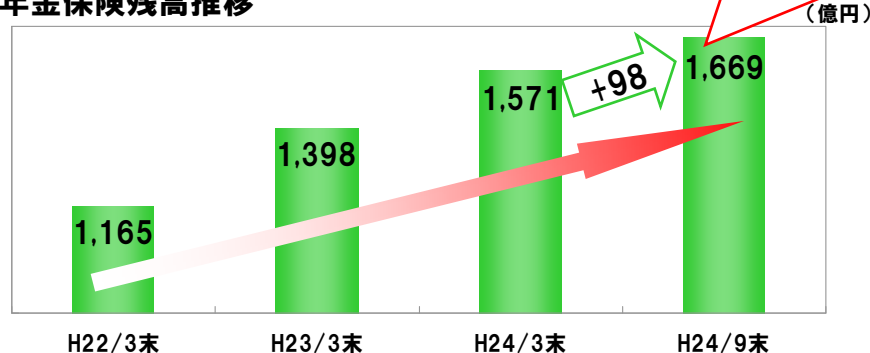


貸出先数が減少傾向にある山口県内地区を主な対象とし、他行肩代わりの推進と法人メイン化推進。特に、収益性の高い小口先を推進

H24/3月末、H24/9月末の残高については、山口銀行・北九州銀行合算数値

2-2. 個人金融(年金保険)

年金保険残高推移



管理部門からの営業人員シフトにより残高は堅調に増加

「資産運用コンサルタント研修」の充実、住宅ローン利用者に対するマネープランの提案により、引続き販売体制を強化

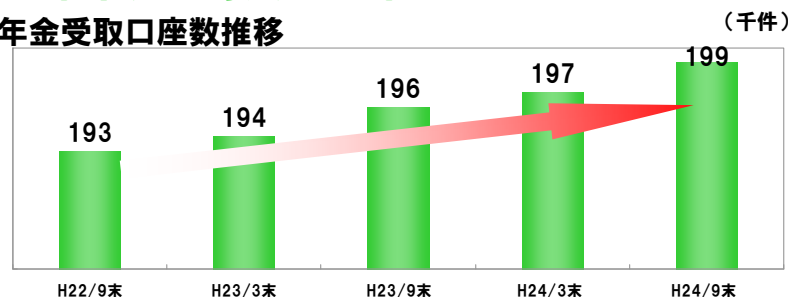
3. 県内取引採算性の向上

コンビニATM手数料無料化実施の一方で県内不採算ATMの削減を実施
平成23年度以降削減台数 33台 (24/上期は8台)

※店外ATM、店舗内ATMの削減台数合計

4. お客様との接点の強化(コンタクトセンターの機能強化)

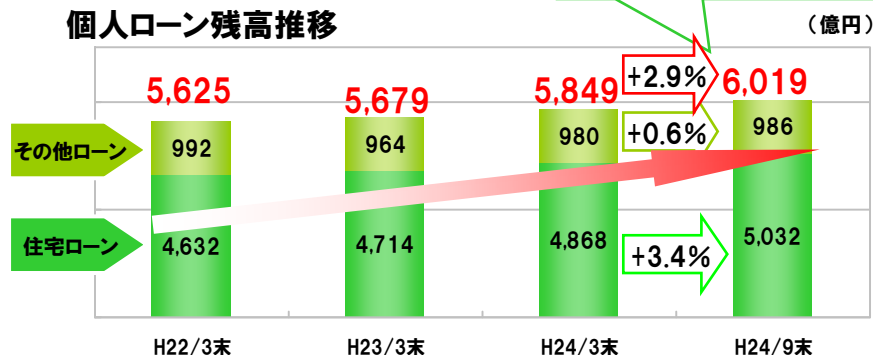
年金受取口座数推移



年金新規受給予定者への早期アプローチ実施と、営業店と一体となった推進を実施

2-1. 個人金融(個人ローン)

個人ローン残高推移



商品性向上、自動審査処理時間の短縮等により6,000億円突破

引続き「住まいのコーナー」機能強化(ローン専担者の増員)、業者営業・借換推進営業を強化することにより住宅ローン増強

H24/3月末、H24/9月末の残高については、山口銀行・北九州銀行合算数値

◆山口県の地域性を活かした経済活性化

- ①高齢化地域 → 地域医療化が避けられない**医療・介護ビジネス**
- ②生産性向上 → 飛躍的生産性向上の可能性を秘めた**農業関連ビジネス**
- ③新産業支援 → 成長産業の可能性を秘めた**環境関連ビジネス**

1. 医療・介護ビジネス

【山口県 要支援・要介護認定者数の推移】 (人)

	H23年度	H26年度	増減
要支援・要介護認定者数 (第1号被保険者)	74,384 (18.2%)	83,253 (19.0%)	+8,869 (+0.8%)
要支援・要介護認定者数 (第2号被保険者)	2,103	2,360	+257
要支援・要介護認定者数合計	76,487	85,613	+9,126

※()内の数値は、65歳以上人口に対する割合

[出所] 第4次やまぐち高齢者プラン

【高齢者向け施設へのニーズ】

- 要支援・要介護認定者数の増加、自宅介護の限界
- 高齢者が住む地方に高齢者向け施設ニーズ

【山口銀行の支援取組】

- ・医療・介護専担チームの設置
- ・ワイエムコンサルティングのノウハウ活用
- ・医療・介護関連事業者とのリレーション強化

2. 農業関連ビジネス

【農業分野でのニーズ】

- 離農による就業者数の減少、高齢化(全国2位)による耕作放棄地増加
- 規模拡大、高付加価値化、6次産業化、販路拡大ニーズ

【山口銀行の支援取組】

- ・農業専担者の配置
- ・農業関係機関との連携強化によるネットワーク化
- ・農業事業者向け制度融資拡充

『山口の実り』(H22年11月取扱開始)

…融資実績15件

『やまぎんアグリサポート』(H23年12月取扱開始)

…融資実績1件

3. 環境関連ビジネス

【環境分野でのニーズ】

- 新規参入・多角化ニーズ
- 環境への取組に対する金融面での支援

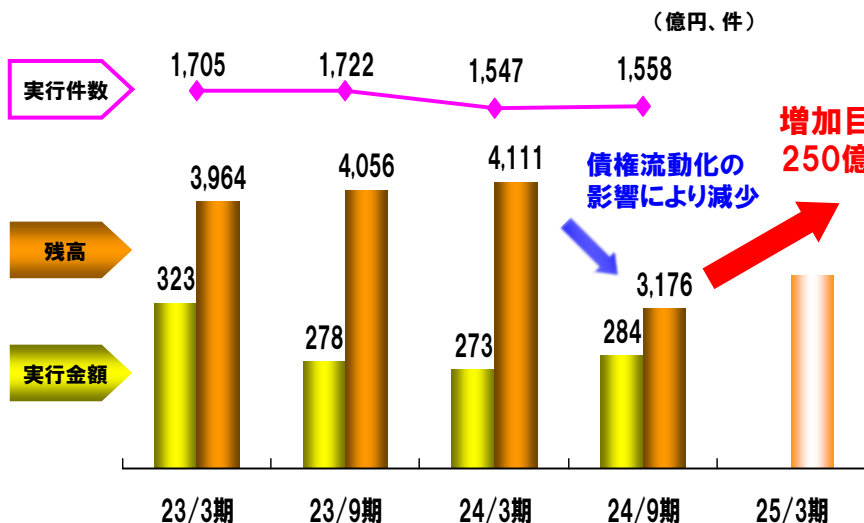
【山口銀行の支援取組】

- ・『国内クレジット制度』導入支援
- ・環境格付融資制度

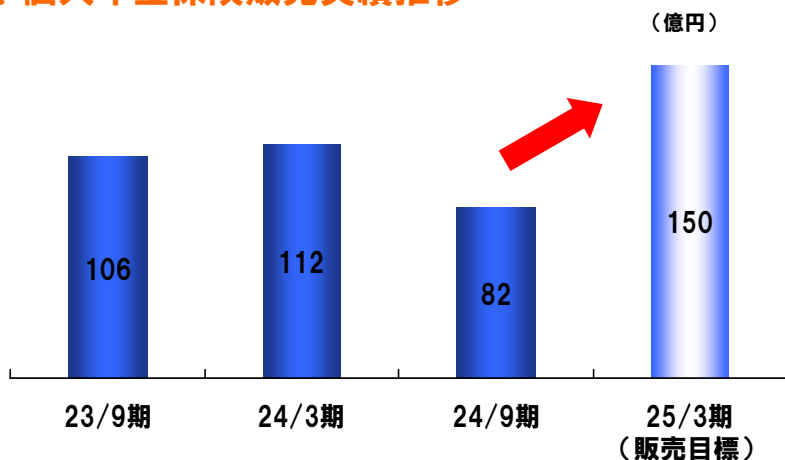
第1号取組実績(H24年9月)

- ◆システム移行による事務効率化や移行のために増員していた本部行員の配置換えにより営業員を増員
- ◆住宅ローン年間増加額や個人年金保険年間増加額で、地域No.1を目指す

1. 住宅ローン実行件数・金額、期末残高の推移



2. 個人年金保険販売実績推移



住宅ローンの営業体制強化

- ・消費増税前の駆け込み需要や広島市中心部の高層マンション建設など、今後、住宅ローン市場の拡大が見込まれる。
- ・営業体制を強化し、新規案件の取込みや他行肩代りを推進する。



- ◆広島県内7ヵ所ある住宅ローン専門拠点のトップに支店長クラスを配置 (4月)
- ◆ローンの知識や接客を学ぶ1ヶ月研修を約100人が終了 (7月)
- ◆住宅ローン専門拠点と営業店を一体化 (8月)



- ・情報共有と連携を強化し、業者営業を強化
- ・営業店案件の指導・フォローを強化

個人年金保険販売体制の強化

- ◆女性営業員の配置による営業力強化
 - ・年度内に、個人を担当する女性の営業担当者を約30人配置
 - ・資産運用の専門知識を持つ女性アドバイザー6期生25人を育成
 - ※25年3月末時点の資産運用アドバイザー183人(見込)
- ◆「弊害防止措置の見直し」に対応し、販売体制を再構築
 - ・融資担当者による終身保険の販売
 - ・融資先の役職員へ終身保険の販売

- ◆「口座新約件数4万件突破」、「計画を上回るペースでの預貸ギャップ縮小」と順調な開業初年度
- ◆引続き積極的な店舗展開と地域密着型金融の実践により、地元のお客様との取引拡大を目指す

1. 積極的な店舗展開

北九州市を中心とした成長が見込まれるエリアに積極出店継続

店舗数 23支店(開業前) ⇒ **30支店1出張所** (H25/8末見込) へ

ひびきの支店

発展著しい
北九州市若松区西部

H25/8 OPEN予定

千早支店

福岡市東区香椎
副都心の千早駅前

H25/3 OPEN予定

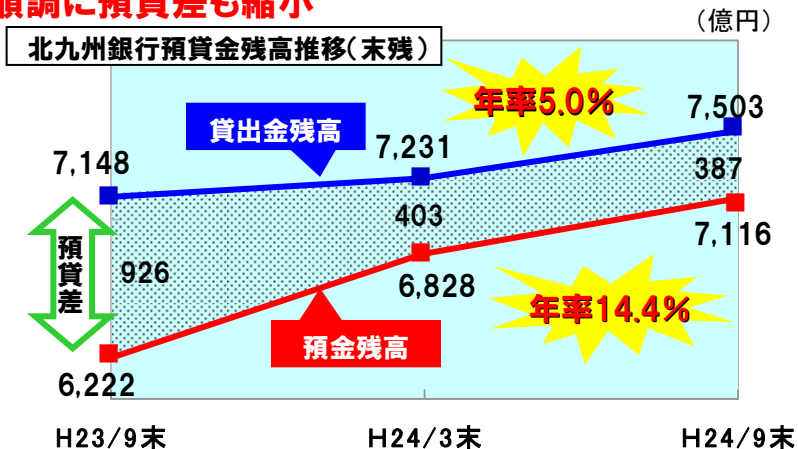
苅田支店

京都府苅田町の商業
施設「サンリブ
苅田」のそば

H25/3 OPEN予定

2. 地元行として預金、貸出金残高とも伸長

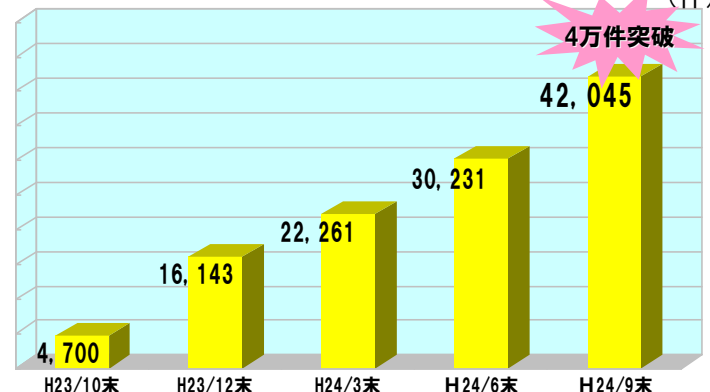
順調に預貸差も縮小



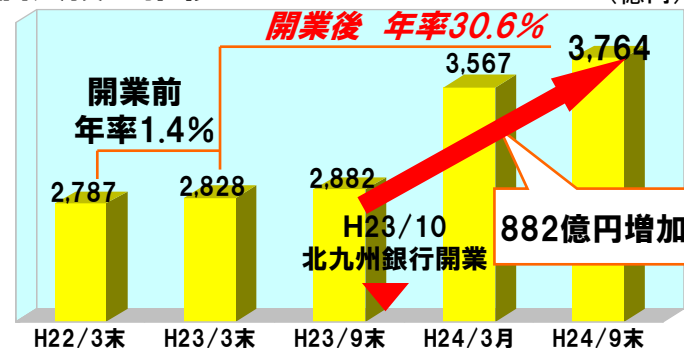
3. 利便性向上によるリテール強化

コンビニATM手数料無料化により、利便性向上とATM設置コストの削減を両立

普通預金口座新約件数(開業からの累計件数) (件)



個人預金推移 (億円)



開業1周年の感謝を込めた「ひまわり感謝定期預金」も好調[取扱開始9月(1ヶ月間)で62億円]

◆人民元ニーズは依然として強く、山口銀行の強みを活かしてグループ海外事業を強化

1. 人民元取扱

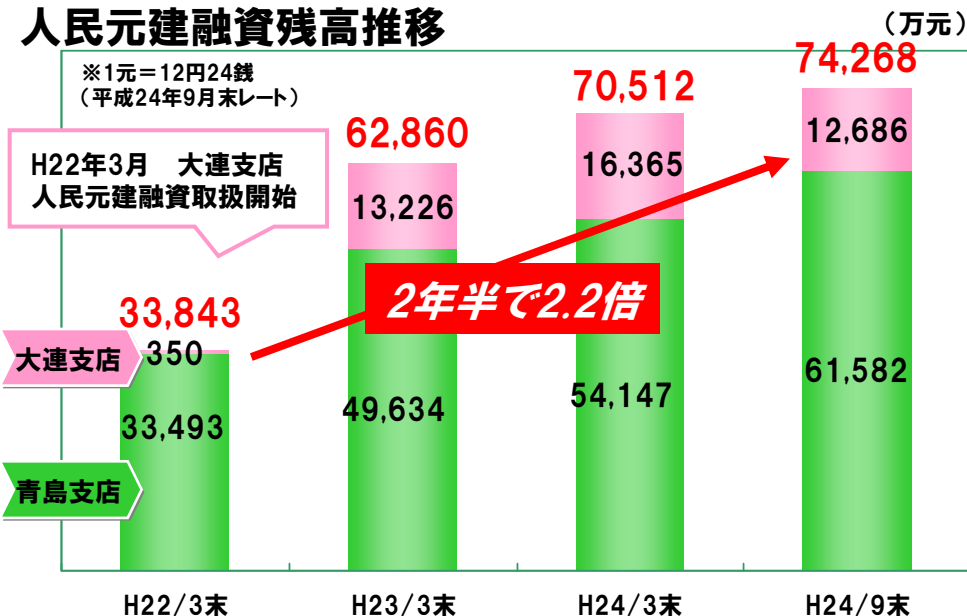
山口銀行の強み (★地銀で唯一)

- ★中国本土で人民元建融資取扱
- ☆他行スタンバイL/C引受(全国15金融機関から受入)
- ☆豊富な資金力(青島支店に2億元(約25億円)増資)(H24年2月)
- ★人民元クロスボーダー決済(自行内で人民元建資金決済完結)

人民元建融資残高推移

※1元=12円24銭
(平成24年9月末レート)

H22年3月 大連支店
人民元建融資取扱開始



参考:人民元預金および貸出金の金利(2012年9月末現在)

預金:3.00% 貸出金:6.00% ⇒ **預貸金単純利鞘 3.00%**

※預金については1年定期預金、貸出金については6ヶ月超1年以内の貸出金利を記載

2. 業務提携による海外コンサルティング力強化

- ☆警備会社との海外ビジネスサポート業務提携(H24年11月)
セコム、総合警備保障
- ☆地方銀行との国際業務提携
北陸銀行(H24年5月)
中国銀行(H23年12月)
- ☆損害保険会社との海外進出支援業務提携(H24年2月)
損保ジャパン・東京海上日動火災保険・三井住友海上火災保険
- ☆大和証券との海外連携業務提携(H23年12月)
- ☆日本通運との海外連携業務提携(H23年11月)

3. 海外商談会・展示会の情報提供・サポート状況

年月日	商談会・展示会	場所	サポート店
H24年 4月	中国山東省貿易商談会	中国・済南市	青島
H24年10月	インドネシア視察ミッション	インドネシア	中国銀行と合同

※平成23年度は海外商談会・展示会を4回支援

4. 海外事業強化へのその他取組

- ☆お取引先の海外進出支援のため海外人材育成強化
～グループ内行員を海外拠点で営業経験
(H24年から4名海外派遣、今後2年を目標に合計20名を予定)
- ☆人民元建外貨定期預金取扱開始(H24年11月)
～人民元建取引の一層の拡大ニーズへの対応
- ☆海外留学生受入継続(中国、タイ、トルコから累計142名)
～国際交流促進、現地でのサポート人脈

◆充実したグループ機能、グループサービスを最大限に活かし、将来にわたるメイン顧客囲い込みを図る

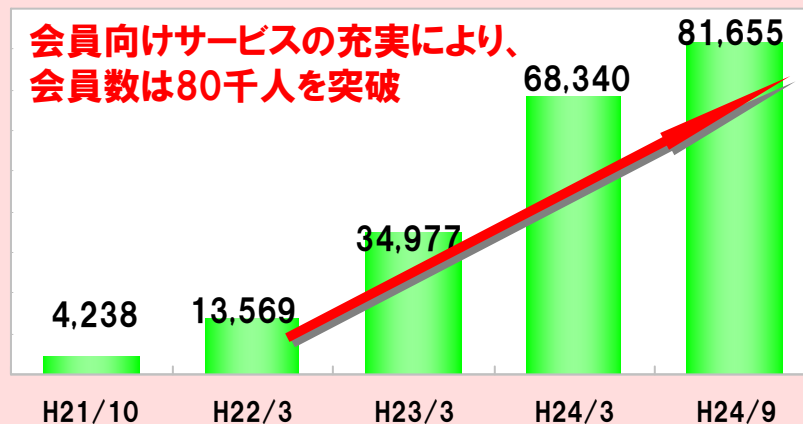
団塊世代・富裕層の早期囲い込み

平成23年度に導入した新たなサービス
(YMDリーム倶楽部)

- ・貸金庫手数料 50%優遇
- ・外貨現金両替手数料50%優遇
- ・提携ホテルでの優遇サービス(預かり資産残高30百万以上)
- ・定期預金の金利優遇拡大(同上)

引続き新たなサービス導入による会員数増強と、取引残高によるサービスの拡充により既存会員との取引拡大

YMDリーム倶楽部会員数推移



若年層(将来メイン層)の囲い込み

ATMネットワーク充実

3行ATM利用手数料
無料

コンビニATM利用手数料
平日時間内無料

※提携コンビニATMは各行毎に異なります

高利便性による誘導

クレジットカード商品改定

29歳以下の若年層をターゲットとしたクレジットカードを導入し、申し込み年齢を「18歳以上」に引き下げ

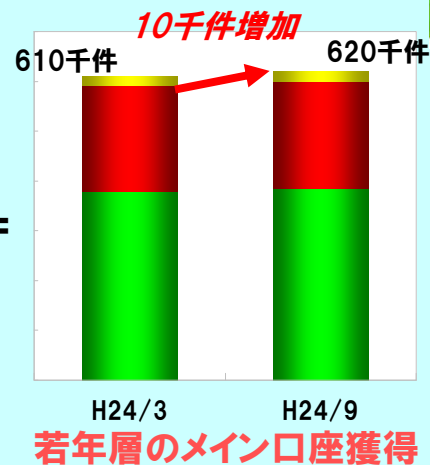
ファーストカードによる誘導

IB機能強化・利用PR

24時間対応
セキュリティ向上

チャンネル拡大

給与振込指定件数(3行合計)



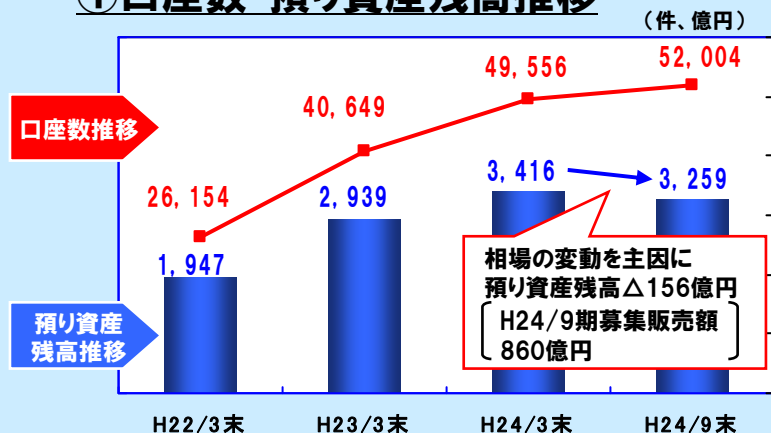
若年層のメイン口座獲得



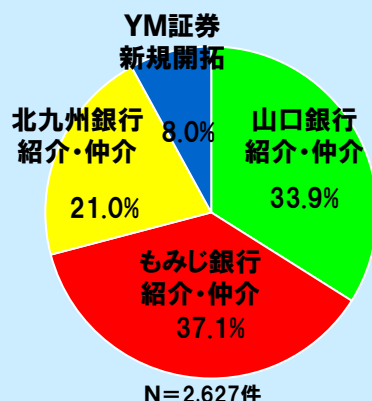
- ◆ワイエム証券: グループ3行のお客様を中心とした資産運用ニーズへの対応強化
- ◆ワイエムコンサルティング: 営業エリア拡大・人員増強・M&A部門新設など、ソリューション機能を強化

ワイエム証券

①口座数・預り資産残高推移



②口座開設経緯 (H24/9期)



③営業力強化に向けた取組み

- ・グループ3行からの仲介を中心とした個人富裕層へのアプローチ継続
- ・もみじ銀行商工センター支店内に**広島西支店**を開設(平成24年4月)
- ・投資セミナーの定期開催
「マーケットに左右されない投資戦略」(24/9開催)
「アジア債券セミナー」(24/8開催)
「エマージング債券ファンド運用報告会」(24/7開催) など

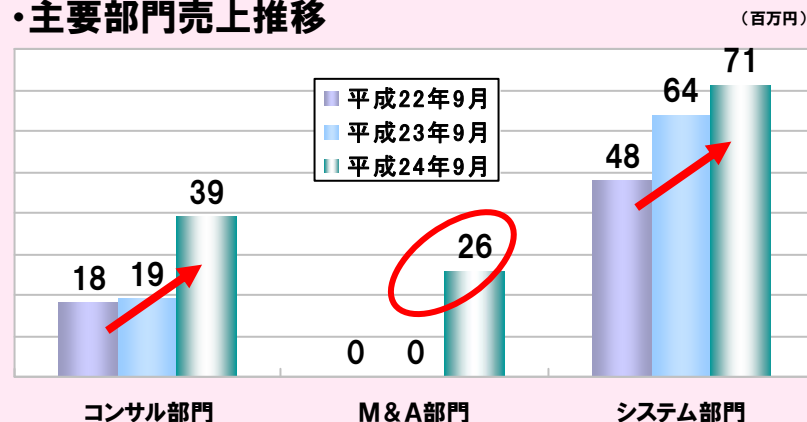
ワイエムコンサルティング

※

- ・人員を18名増員(44名体制)し、営業力強化
- ・平成23年度に市場ニーズの高い「M&A部門」を新設
⇒既存のコンサルティング部門とともに、金融円滑化法の出口戦略として活用
- ・営業エリア拡大、グループ3行とのコラボレーション強化により、グループのソリューション機能強化を図る

※常勤役員3名を除く

・主要部門売上推移



3.資料編

業績推移(1) FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	20/3期 (通期)	21/3期 (通期)	21/9期 (半期)	22/3期 (通期)	22/9期 (半期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,209	1,227	606	1,199	582	1,181	588	1,169	622	34
コア業務純益	364	385	191	373	123	292	159	277	182	22
経常利益	411	195	157	390	143	357	167	363	191	23
当期利益	269	137	108	267	80	191	87	179	122	34
ROE	6.03%	3.31%	5.08%	6.19%	3.54%	4.23%	3.92%	3.92%	5.18%	1.26%
総資産	75,300	77,772	81,558	86,475	88,201	87,581	89,865	91,154	90,830	965
BIS比率	10.45%	9.67%	10.77%	11.13%	11.38%	11.36%	11.34%	11.75%	12.90%	1.56%

3行合算

(億円)

	20/3期 (通期)	21/3期 (通期)	21/9期 (半期)	22/3期 (通期)	22/9期 (半期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,184	1,200	586	1,152	575	1,149	564	1,120	599	35
資金収支	1,046	1,058	520	1,029	536	1,051	512	1,008	478	△ 33
役務収支	137	123	52	105	51	102	48	102	46	△ 2
経費	788	773	378	753	420	810	387	810	402	14
人件費	390	379	185	376	194	380	184	369	180	△ 3
物件費	358	355	171	339	196	384	181	395	199	18
コア業務純益	396	426	207	398	155	338	176	309	196	20
経常利益	471	240	172	418	195	425	184	393	200	16
当期利益	322	185	126	303	130	264	111	215	137	26
与信関係費用	△ 15	101	62	31	33	27	40	4	9	△ 30

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体

(億円)

		20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
		(通期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	(通期)	(半期)	
山口銀行	コア業務粗利益	745	744	367	718	368	733	359	665	284	△ 75
	資金収支	660	666	327	647	346	672	325	594	257	△ 68
	役務収支	82	69	35	68	33	68	33	66	29	△ 4
	経費	466	461	224	444	267	503	235	443	204	△ 31
	人件費	243	241	116	237	122	234	109	199	89	△ 20
	物件費	199	198	95	187	124	239	113	223	103	△ 10
	コア業務純益	279	283	142	273	100	230	123	221	80	△ 43
	経常利益	329	142	115	259	132	283	119	262	93	△ 26
	当期利益	200	112	70	162	86	176	71	138	57	△ 14
与信関係費用	△ 17	104	56	67	31	45	34	21	△ 4	△ 38	
もみじ銀行	コア業務粗利益	439	455	218	434	207	415	204	402	261	57
	資金収支	385	391	192	382	189	379	187	365	171	△ 16
	役務収支	54	53	17	36	17	33	15	33	14	△ 1
	経費	321	312	154	308	152	307	151	322	153	2
	人件費	146	137	69	138	72	146	74	149	70	△ 4
	物件費	158	156	75	152	71	144	68	150	74	6
	コア業務純益	117	142	64	125	54	108	52	79	107	55
	経常利益	123	94	56	120	63	121	64	113	103	39
	当期利益	122	73	56	141	43	88	40	74	78	38
与信関係費用	1	△ 2	6	△ 35	2	△ 18	6	△ 6	18	12	
北九州銀行	コア業務粗利益								53	53	-
	資金収支								48	49	-
	役務収支								3	3	-
	経費								44	44	-
	人件費								19	20	-
	物件費								21	21	-
	コア業務純益								8	9	-
	経常利益								17	3	-
	当期利益								2	2	-
与信関係費用								△ 11	△ 5	-	

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
国内貸出金合計	33,691	36,404	36,882	38,163	38,204	38,333	38,771	31,854	31,802	△ 6,969
法人貸出金	25,397	26,953	26,670	27,388	27,389	27,031	27,782	21,475	22,050	△ 5,732
大企業	8,194	9,132	10,316	9,775	9,656	9,699	10,183	9,638	9,884	△ 299
中堅企業	1,338	1,308	1,293	1,283	1,573	1,531	1,566	989	1,022	△ 544
中小企業等	15,865	16,512	15,061	16,125	16,159	15,801	16,032	11,230	11,143	△ 4,889
地公体	2,315	3,239	3,892	4,410	4,368	4,677	4,488	4,738	4,648	160
外郭団体	960	1,008	875	944	825	946	818	428	190	△ 628
個人ローン	5,018	5,201	5,442	5,625	5,622	5,679	5,682	4,828	4,912	△ 770
住宅ローン	4,210	4,406	4,473	4,632	4,646	4,714	4,726	4,058	4,154	△ 572
その他ローン	807	796	968	992	976	964	955	770	757	△ 198

もみじ銀行

(億円)

	20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
国内貸出金合計	17,513	18,602	18,548	18,878	18,683	18,912	18,705	18,797	17,759	△ 946
法人貸出金	12,427	13,021	12,743	12,757	12,525	12,344	12,157	12,126	12,130	△ 27
大企業	1,965	2,866	2,742	2,630	2,579	2,878	2,903	2,925	3,483	580
中堅企業	738	761	834	1,170	1,148	761	844	804	596	△ 248
中小企業等	9,723	9,394	9,166	8,956	8,797	8,704	8,409	8,397	8,049	△ 360
地公体	955	1,169	1,364	1,476	1,553	1,719	1,739	1,760	1,736	△ 3
外郭団体	193	167	126	205	61	205	105	134	70	△ 35
個人ローン	3,937	4,243	4,313	4,438	4,543	4,642	4,703	4,776	3,822	△ 881
住宅ローン	3,082	3,435	3,543	3,701	3,723	3,963	4,056	4,111	3,175	△ 881
その他ローン	855	807	769	737	819	678	646	665	647	1

北九州銀行

(億円)

	20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
国内貸出金合計								7,231	7,503	-
法人貸出金								5,791	5,967	-
大企業								605	726	-
中堅企業								521	566	-
中小企業等								4,664	4,674	-
地公体								399	400	-
外郭団体								20	29	-
個人ローン								1,020	1,106	-
住宅ローン								810	878	-
その他ローン								210	228	-

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
預金		41,347	43,640	45,935	47,387	48,065	48,282	49,867	43,703	44,489	△ 5,378
内容別	一般	39,197	41,008	42,819	44,276	44,946	43,939	45,515	40,028	40,338	△ 5,177
	公金	1,650	2,064	2,330	2,306	2,677	2,454	2,762	2,752	2,532	△ 230
	金融	500	566	784	803	442	1,888	1,589	922	1,619	30
商品別	邦貨定期性預金	20,108	22,239	25,010	24,547	25,706	24,384	25,890	22,173	23,622	△ 2,268
	邦貨流動性預金	21,120	21,093	20,637	22,527	21,974	23,504	23,568	21,248	20,648	△ 2,920
	外貨預金	118	307	287	311	384	394	408	281	218	△ 190
譲渡性預金		2,545	2,517	2,856	4,178	5,173	4,013	5,134	4,759	4,173	△ 961

もみじ銀行

(億円)

		20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
預金		24,039	24,748	25,026	26,520	25,978	26,068	25,531	25,995	25,833	302
内容別	一般	23,716	24,043	24,087	25,287	24,995	25,454	24,956	25,648	25,453	497
	公金	90	390	652	731	646	253	246	101	266	20
	金融	233	315	287	501	336	361	328	245	112	△ 216
商品別	邦貨定期性預金	13,818	14,289	14,802	15,111	14,897	14,768	14,470	14,738	14,338	△ 132
	邦貨流動性預金	10,051	10,007	9,601	10,454	10,443	10,807	10,696	11,156	11,405	709
	外貨預金	169	451	622	954	638	492	364	99	89	△ 275
譲渡性預金		545	145	481	444	914	1,557	1,612	1,915	1,392	△ 220

北九州銀行

(億円)

		20/3期	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	前年同期比
預金									6,377	6,638	-
内容別	一般								6,271	6,380	-
	公金								46	212	-
	金融								59	46	-
商品別	邦貨定期性預金								3,379	3,704	-
	邦貨流動性預金								2,871	2,800	-
	外貨預金								126	133	-
譲渡性預金									449	479	-

※計数は国内勘定のみ(もみじ銀行は非居住者円預金を含む)。記載金額は、単位未満を切捨て表示

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(単位：億円)

	H20/3期	H20/9期	H21/3期	H21/9期	H22/3期	H22/9期	H23/3期	H23/9期	H24/3期	H24/9期	前年同期比
資金運用勘定計	42,961	45,572	45,607	48,538	49,473	52,239	52,106	53,356	50,719	48,234	△ 5,122
貸出金	31,788	33,191	33,976	35,538	35,980	36,506	36,587	36,726	33,656	30,445	△ 6,281
有価証券	10,050	10,248	10,062	9,840	10,417	11,713	12,317	11,908	12,371	13,416	1,508
コールローン	909	1,378	948	2,571	2,646	3,732	2,917	3,971	4,082	4,142	171
資金調達勘定計	40,999	43,454	43,555	46,561	47,404	50,182	50,047	51,398	49,049	46,738	△ 4,660
預金	39,523	41,595	41,784	43,672	44,183	46,237	46,104	47,097	44,506	42,158	△ 4,939
譲渡性預金	1,771	2,293	2,142	3,310	3,627	4,178	4,181	4,701	4,838	4,808	107
コールマネー	407	370	376	279	300	412	393	111	253	346	235

もみじ銀行

(単位：億円)

	H20/3期	H20/9期	H21/3期	H21/9期	H22/3期	H22/9期	H23/3期	H23/9期	H24/3期	H24/9期	前年同期比
資金運用勘定計	24,593	24,616	24,666	25,630	26,026	26,894	26,893	26,916	27,087	27,059	143
貸出金	16,649	17,129	17,428	18,269	18,416	18,521	18,486	18,558	18,562	18,431	△ 127
有価証券	7,342	6,955	6,732	6,435	6,675	7,410	7,598	7,325	7,446	6,941	△ 384
コールローン	506	463	437	884	902	915	767	958	1,001	1,620	662
資金調達勘定計	24,329	24,317	24,375	25,252	25,573	26,266	26,188	26,123	26,262	26,286	163
預金	23,595	23,558	23,662	24,568	24,765	25,413	25,333	25,096	25,049	25,281	185
譲渡性預金	276	325	298	272	397	483	590	848	1,027	828	△ 20
コールマネー	21	21	18	26	19	7	7	6	9	8	2

北九州銀行

(単位：億円)

									H24/3期	H24/9期	前年同期比
資金運用勘定計									7,208	7,319	-
貸出金									6,774	7,011	-
有価証券									155	148	-
コールローン									251	124	-
資金調達勘定計									6,703	6,844	-
預金									5,779	6,087	-
譲渡性預金									418	464	-
コールマネー									501	288	-

※金額は単位未満を四捨五入して表示。北九州銀行については開業後平残。

山口銀行		H20/3期	H20/9期	H21/3期	H21/9期	H22/3期	H22/9期	H23/3期	H23/9期	H24/3期	H24/9期
資金運用利回	①	1.914	1.900	1.852	1.619	1.564	1.516	1.462	1.356	1.302	1.177
貸出金利回	ア	1.987	1.961	1.930	1.777	1.736	1.642	1.618	1.558	1.537	1.461
有価証券利回		1.727	1.768	1.659	1.466	1.346	1.557	1.295	1.163	1.056	0.843
コールローン利回		1.173	1.770	1.548	0.225	0.219	0.181	0.251	0.214	0.195	0.147
資金調達利回	②	0.394	0.465	0.408	0.283	0.267	0.199	0.179	0.145	0.135	0.116
預金利回		0.318	0.411	0.365	0.267	0.257	0.194	0.172	0.136	0.123	0.099
譲渡性預金利回		0.634	0.677	0.650	0.403	0.319	0.179	0.169	0.140	0.141	0.146
コールマネー利回		4.626	3.874	2.928	0.862	0.663	0.572	0.647	1.409	1.038	0.974
経費率	③	1.137	1.088	1.059	0.959	0.938	1.063	1.005	0.914	0.904	0.872
資金調達原価 ②+③	④	1.531	1.553	1.468	1.243	1.206	1.263	1.185	1.059	1.040	0.988
総資金利鞘 ①-④		0.383	0.347	0.384	0.376	0.358	0.253	0.277	0.297	0.262	0.189
預金等原価	イ	1.461	1.503	1.429	1.228	1.192	1.251	1.172	1.044	1.024	0.972
預金等利回	ウ	0.332	0.425	0.379	0.276	0.261	0.192	0.172	0.136	0.124	0.104
経費率		1.128	1.077	1.050	0.951	0.930	1.058	1.000	0.907	0.899	0.868
預貸金利鞘	ア-イ	0.526	0.458	0.501	0.549	0.544	0.391	0.446	0.514	0.513	0.489
単純預貸金利鞘	ア-ウ	1.655	1.536	1.551	1.501	1.475	1.450	1.446	1.422	1.413	1.357
単純預証利鞘		1.395	1.343	1.280	1.190	1.085	1.365	1.123	1.027	0.932	0.739

もみじ銀行		H20/3期	H20/9期	H21/3期	H21/9期	H22/3期	H22/9期	H23/3期	H23/9期	H24/3期	H24/9期
資金運用利回	①	1.937	1.931	1.941	1.794	1.746	1.624	1.592	1.511	1.457	1.351
貸出金利回	ア	2.332	2.267	2.246	2.057	2.021	1.912	1.892	1.807	1.781	1.668
有価証券利回		1.091	1.113	1.170	1.156	1.099	0.968	0.897	0.872	0.783	0.783
コールローン利回		0.710	0.592	0.429	0.126	0.130	0.129	0.135	0.146	0.144	0.124
資金調達利回	②	0.372	0.386	0.358	0.301	0.282	0.222	0.186	0.128	0.113	0.087
預金利回		0.304	0.341	0.319	0.277	0.259	0.203	0.174	0.124	0.108	0.081
譲渡性預金利回		0.723	0.669	0.606	0.331	0.296	0.218	0.194	0.167	0.155	0.148
コールマネー利回		4.578	4.489	3.690	1.079	0.895	0.660	0.658	0.903	0.849	0.395
経費率	③	1.323	1.282	1.282	1.220	1.208	1.159	1.175	1.158	1.227	1.167
資金調達原価 ②+③	④	1.695	1.668	1.640	1.521	1.490	1.381	1.361	1.286	1.340	1.254
総資金利鞘 ①-④		0.242	0.263	0.301	0.273	0.256	0.243	0.231	0.225	0.117	0.097
預金等原価	イ	1.658	1.651	1.627	1.518	1.488	1.379	1.362	1.292	1.346	1.258
預金等利回	ウ	0.309	0.345	0.322	0.277	0.260	0.203	0.175	0.125	0.110	0.083
経費率		1.348	1.305	1.304	1.240	1.228	1.175	1.187	1.166	1.235	1.175
預貸金利鞘	ア-イ	0.674	0.616	0.619	0.539	0.533	0.533	0.530	0.515	0.435	0.410
単純預貸金利鞘	ア-ウ	2.023	1.922	1.924	1.780	1.761	1.709	1.717	1.682	1.671	1.585
単純預証利鞘		0.782	0.768	0.848	0.879	0.839	0.765	0.722	0.747	0.673	0.700

※1 商品有価証券を含んでおりません。

北九州銀行		H20/3期	H20/9期	H21/3期	H21/9期	H22/3期	H22/9期	H23/3期	H23/9期	H24/3期	H24/9期
資金運用利回	①									1.483	1.479
貸出金利回	ア									1.546	1.482
有価証券利回										0.592	2.193
コールローン利回										0.467	0.743
資金調達利回	②									0.140	0.139
預金利回										0.131	0.136
譲渡性預金利回										0.231	0.161
コールマネー利回										0.130	0.115
経費率	③									1.339	1.289
資金調達原価 ②+③	④									1.480	1.428
総資金利鞘 ①-④										0.003	0.051
預金等原価	イ									1.587	1.484
預金等利回	ウ									0.138	0.137
経費率										1.449	1.346
預貸金利鞘	ア-イ									-0.041	-0.002
単純預貸金利鞘	ア-ウ									1.408	1.345
単純預証利鞘										0.454	2.056

※単位未満を四捨五入して表示。

債務者区分の遷移状況(平成23年9月末⇒平成24年3月末)

(1) 山口銀行

ランクダウン 234億円

(億円)

			24年3月末						その他	
	正常先		要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
23年9月末	正常先	22,359	21,794	164	0	0	0	-	399	
	要注意先	その他	5,215	86	4,716	16	12	1	1	380
		要管理先	92	-	1	70	15	0	0	5
	破綻懸念先	464	0	10	-	426	16	3	6	
	実質破綻先	102	-	-	-	7	87	1	5	
	破綻先	78	-	-	-	-	-	68	10	

(2) もみじ銀行

ランクダウン 232億円

ランクアップ 104億円

(億円)

			24年3月末						その他	
	正常先		要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
23年9月末	正常先	10,116	9,701	86	-	0	0	0	327	
	要注意先	その他	3,918	157	3,612	21	28	11	2	84
		要管理先	92	-	7	17	62	5	-	0
	破綻懸念先	182	-	4	0	158	10	2	6	
	実質破綻先	77	-	-	-	0	70	0	5	
	破綻先	122	-	-	-	-	-	115	7	

(3) 北九州銀行

ランクダウン 161億円

ランクアップ 170億円

(億円)

			24年3月末						その他	
	正常先		要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
			その他	要管理先						
23年9月末	正常先	4,213	4,043	117	0	-	-	-	51	
	要注意先	その他	2,097	81	1,963	-	2	-	0	49
		要管理先	143	-	1	140	0	-	-	1
	破綻懸念先	117	-	15	0	62	1	37	0	
	実質破綻先	35	-	-	-	-	30	0	4	
	破綻先	56	-	-	-	-	-	39	16	

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

ランクアップ 98億円

債務者区分の遷移状況(平成24年3月末⇒平成24年9月末)

(1) 山口銀行

ランクダウン 397億円

(億円)

			24年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年3月末	正常先	22,451	21,801	316	0	0	0	-	332	
	要注意先	その他	5,081	496	4,111	24	16	5	14	413
		要管理先	83	-	4	74	1	0	0	2
	破綻懸念先	449	0	24	1	415	1	2	3	
	実質破綻先	101	-	-	-	3	80	13	3	
	破綻先	71	-	-	-	-	0	59	11	

(2) もみじ銀行

ランクダウン 265億円

ランクアップ 530億円

(億円)

			24年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年3月末	正常先	10,308	9,920	197	0	1	0	0	187	
	要注意先	その他	3,772	291	3,263	4	31	3	13	164
		要管理先	39	0	21	15	-	-	0	1
	破綻懸念先	247	-	0	-	235	4	0	6	
	実質破綻先	87	-	-	-	-	77	7	2	
	破綻先	113	-	-	-	-	0	111	1	

(3) 北九州銀行

ランクダウン 163億円

ランクアップ 313億円

(億円)

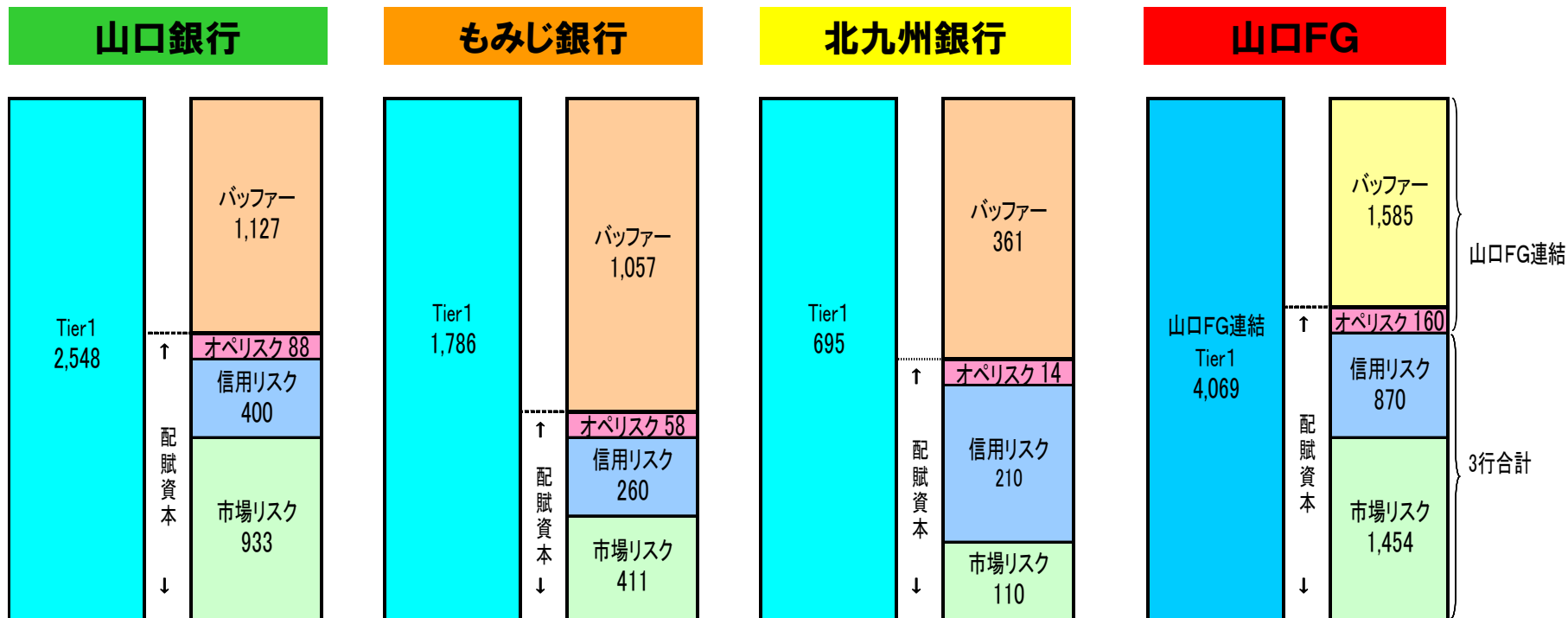
			24年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
24年3月末	正常先	4,207	4,022	147	0	-	-	-	37	
	要注意先	その他	2,223	283	1,898	6	6	0	1	25
		要管理先	141	-	33	107	-	0	-	0
	破綻懸念先	68	-	0	-	65	0	0	2	
	実質破綻先	31	-	-	-	-	30	-	0	
	破綻先	75	-	-	-	-	-	68	6	

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 山口銀行、北九州銀行の前期末時点の債務者区分別与信額は、平成23年10月の会社分割を考慮し、取扱店舗で分割させたもの。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

ランクアップ 318億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('12/9末)	343	194	150	687
	資本配賦額	400	260	210	870
	使用率	85.8 %	74.6 %	71.4 %	
市場リスク	リスク量('12/9末)	586	197	72	855
	資本配賦額	933	411	110	1,454
	使用率	62.8 %	47.9 %	65.5 %	

- Tier1 :中核的自己資本(控除項目除く)
- バッファー:想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

※平成 24年の下半期より、平成25年3月から適用されるバーゼル3の枠組みに合わせて、配賦原資を「普通株式等Tier1+その他Tier1」とするなどの変更を行っている。

◆景気は足踏み状態となっている。

生産	火災で停止していたプラントの復旧等から、化学で持ち直しの動きがみられる一方、電子部品・デバイスの生産が低迷を続け、定期修理の影響等から石油製品等でも操業度が低下しており、全体の生産は低水準で推移している。
設備投資	平成24年度の設備投資計画額は(山口経済研究所調べ)、大企業・製造業の増加から、2年連続で前年度を上回っている(前年度比+2.1%)。
輸出	輸出額は、防府港の欧州向け自動車、徳山港のアジア向け化学製品、下関港の韓国向け半導体等製造装置の前年割れが続き、全体でも今年5月以降5ヶ月連続の前年割れとなっている。
個人消費	大型小売店販売額が今年5月以降4ヶ月連続で前年を下回り、家電量販店販売額も前年割れを続けているほか、乗用車販売台数もエコカー補助金の終了に伴い足元で落ち込むなど、一部に弱めの動きがみられる。
公共工事	平成24年度累計(～9月)の公共工事請負金額は、国からの発注が前年度の大幅増の反動もあって大きく減少し、県からの発注も減少を続け、全体でも前年度比15.3%減少となっている。
住宅建築	新設住宅着工戸数は、住宅エコポイント制度等の政策効果や金利低下から、貸家や分譲マンションの着工が増加傾向で推移している。
雇用情勢	平成24年9月の有効求人倍率は0.87倍で2ヶ月連続の横這いとなり、実質賃金も今年6月から3ヶ月連続で前年を下回るなど、改善の動きが一服している。
企業倒産	政府による金融支援策の下支えもあって、倒産件数は平成22年2月から今年9月まで32ヶ月連続で1桁台が続き、大型倒産(負債額10億円以上)の発生も少なく、沈静化した状況が続いている。

◆景気は横這いでの推移となっている。

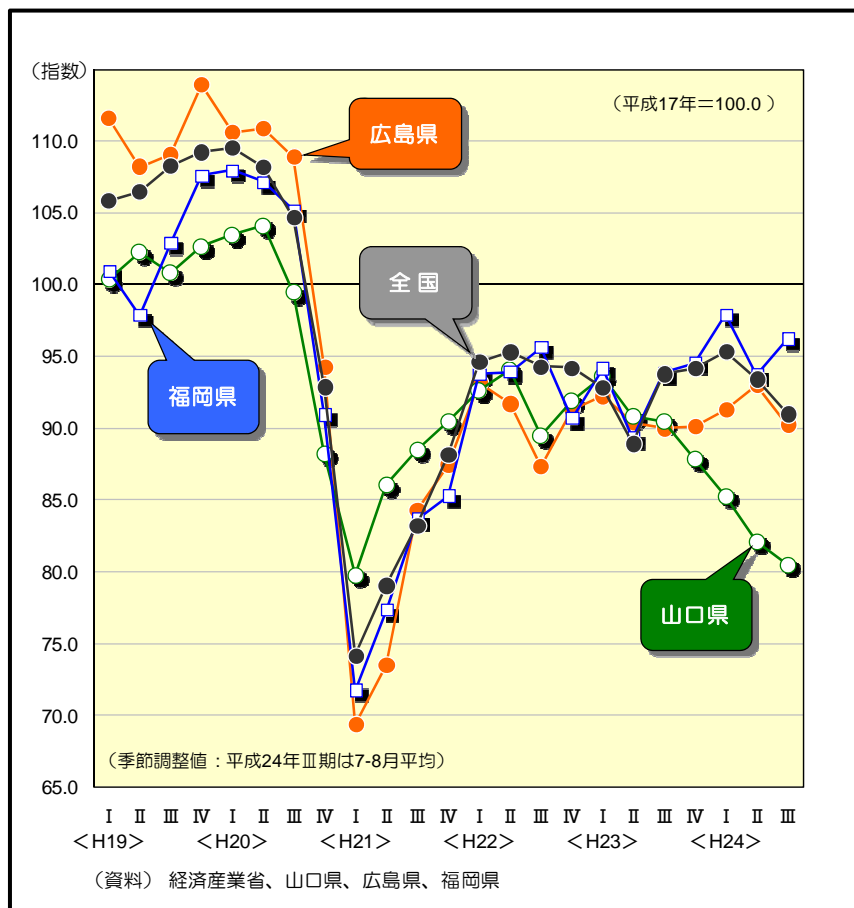
生産	一般機械や電気機械(スマートフォン向け部品)が高水準の生産を続けている。一方、輸出の減少等から、自動車の生産が弱めの動きとなっているほか、鉄鋼も造船関連需要の減少から生産水準が低下している。
設備投資	平成24年度の設備投資計画額は(日銀広島支店調べ)、製造業(前年度比▲15.9%)、非製造業(同▲4.4%)がいずれも前年度を下回り、全体でも同10.6%減少と2年連続の前年比マイナスとなっている。
輸出	海外経済の減速感の強まり等から、自動車等の輸出が減少している。
個人消費	百貨店での高額品販売が堅調な一方、薄型テレビの販売不振から家電量販店販売額の前年割れが続いているほか、乗用車販売台数もエコカー補助金の終了から増勢が鈍化するなど、横這いでの動きとなっている。
公共工事	平成24年度累計(～9月)の公共工事請負金額は前年度比5.1%減少し、低水準での推移となっている。
住宅建築	平成24年累計(～9月)の着工戸数は、分譲マンションの新規着工の一服等から、全体でも前年比6.0%減少となっており、足元で弱含んでいる。
雇用情勢	製造業の求人数が減少傾向となっていること等から、有効求人倍率が横這い圏内での動きとなり、雇用者所得は所定内給与、所定外給与ともに前年を下回る水準である。
企業倒産	件数、負債総額ともにほぼ横這いでの推移となっており、全体として落ち着いた状態が続いている。

◆北九州地区の経済は、海外経済の減速等を背景とした外需の下振れから、足踏み状態にある。

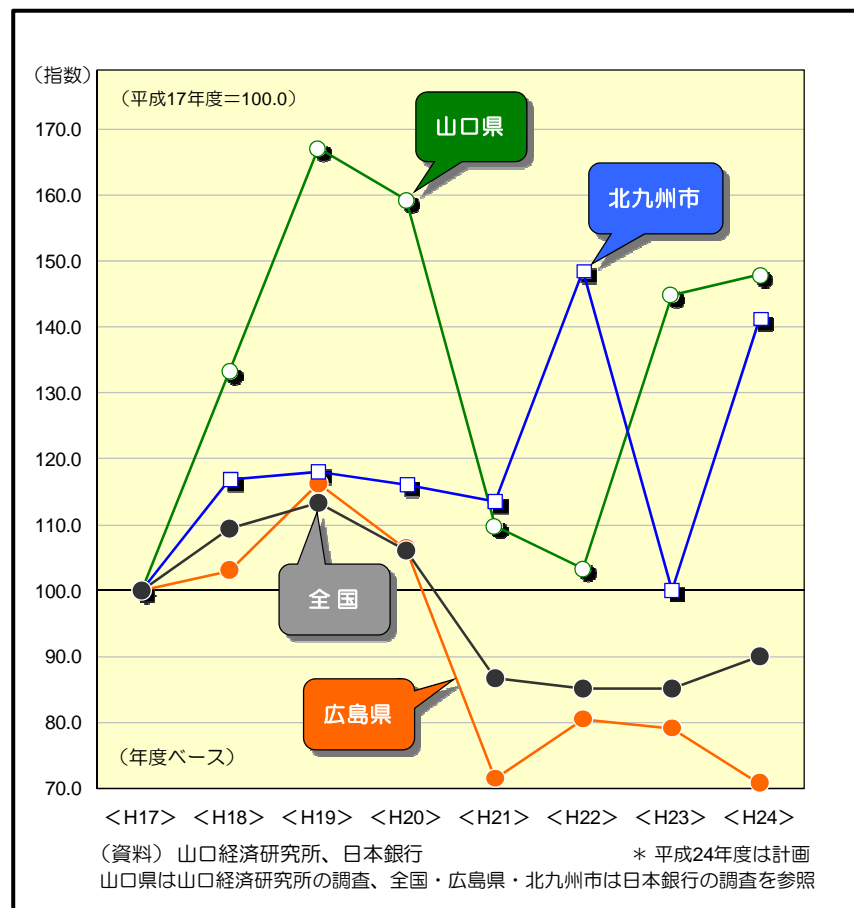
生産	自動車や住設機器では高水準の生産を続けており、セメントでも持ち直しているが、海外経済の減速等を背景に、鉄鋼、化学、電気機械、電子部品では低下してきている。
設備投資	大企業製造業を中心に足許持ち直しているが、先行きは不透明感がある。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2012年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が68.6%増加、非製造業が1.2%増加し、全体では41.1%の増加となっている。
輸出	海外経済の減速等を背景に、足踏み状態にある。
個人消費	全体としてなお底堅く推移している。
公共工事	減少基調に歯止めがかかっており、2012年度上期の公共工事請負額は、前年度比で19.2%増加した。
住宅建築	持ち直し基調が続いており、2012年度上期の新設住宅着工戸数は、前年同期と同水準となっている。
雇用情勢	緩やかに改善しており、2012年9月の有効求人倍率は0.84倍となっている。
企業倒産	2012年度上期の企業倒産は、前年同期と比較して件数に変化はないが、大型倒産の発生により負債総額は大幅に増加した。

- ◆ 鉱工業生産指数：海外経済減速の影響等から、全体の生産水準は低迷
- ◆ 設備投資額（平成24年度）：山口県（前年比+2.1%）が2年連続の前年比プラス、広島県（同▲10.6%）は2年連続の減少、北九州市（同+41.1%）は2年ぶりの前年比プラス

鉱工業生産指数の推移



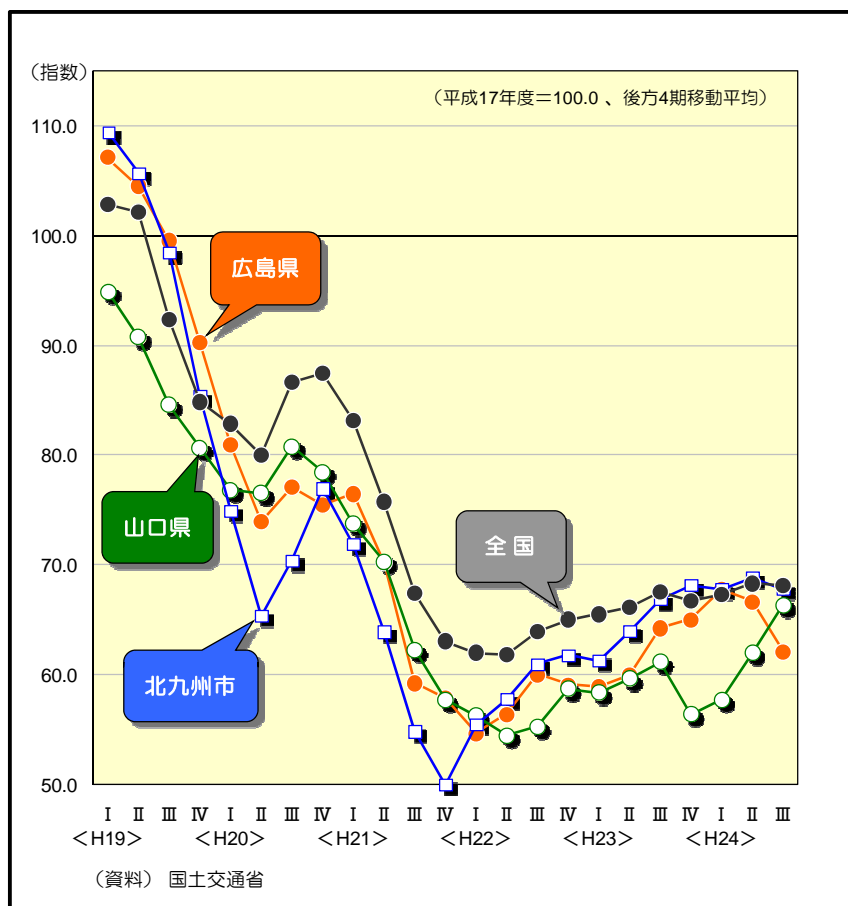
設備投資額の推移



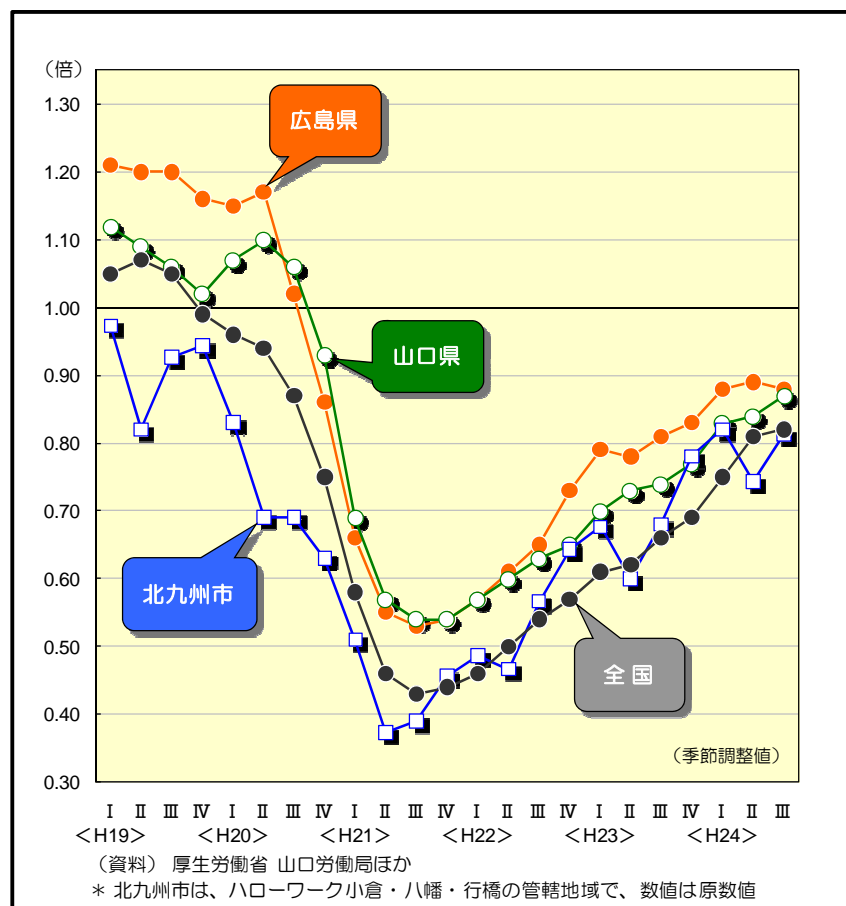
地域経済概況（住宅建築・雇用情勢）

- ◆住宅着工戸数：貸家、分譲マンションが前年を上回る水準で推移し、全体でも増加傾向
- ◆雇用情勢：有効求人倍率が横這いで推移し、実質賃金が減少するなど、改善の動きが一服

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 柳 田

カスタマーコミュニケーション部 山 西

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>